

令和6年度

# 事業別決算説明

一般会計 歳出の状況

文教経済常任委員会関係

文化観光部

# ○事業別決算説明について

## 1 上段の表中の表示について

- (1) 執行額、翌年度繰越額、執行残額は、単位未満の数値（四捨五入してゼロとなる500円未満の数値）がある場合は「0」（ゼロ）を表記し、該当数値のない場合は「-」（ハイフン）を表記しています。
- (2) 執行額の財源内訳欄及び執行残額の内訳欄は、単位未満の数値（四捨五入してゼロとなる500円未満の数値）がある場合は「0」（ゼロ）を表記し、該当数値のない場合は見易さを考慮し空白としています。
- (3) 個々の数字は、表示単位で四捨五入しています。また、財源内訳欄は、それぞれの数値を表示単位で四捨五入し全体額との調整を一般財源欄で行っています。
- (4) 執行額、執行残額は、それぞれ決算書の支出済額、不用額を表しています。

## 2 執行残額について

執行残額については、大きく4つの理由に分けて金額を表示するとともに、具体的な内容を【執行残額について】に記載しています。

なお、原則として千円単位の表記となっていますが、執行残額が「0」の場合（単位未満の数値がある）は、円単位で表記しています。

※令和6年度事業が令和7年度に複数の課に分割された場合は、令和7年度所管課分の数値を記載し、下段【】書きで令和6年度事業全体事業費を記載してあります。

事業の概要以降は、令和7年度所管課分の事業について作成してあります。

(例) 令和6年度事業費(●●課) 48,000千円



令和6年度事業費(令和7年度○○○○課) 36,000千円  
 令和6年度事業費(令和7年度△△△△課) 12,000千円

※令和6年度と令和7年度で所管課名称が変更になった場合、または、課等の名称が変更になった場合は、下記のとおり表現とし、事業を担当する令和7年度の所管課が作成してあります。

記入例 : 令和6年度は●●課で実施した事業が  
 令和7年度に○○○○課に移管された場合

所管課等	○○○○課 (令和6年度所管は●●課)
------	------------------------

(単位：千円)

決算書 (P ~ P)	款 項 目	所管課等	○○○○課 (令和6年度所管は●●課)
事 業 名			

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
36,000 【48,000】						
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	

執行額、翌年度繰越額、執行残額の欄は、次のとおり  
 単位未満の数値あり : 「0」 (ゼロ)  
 該当数値なし : 「-」 (ハイフン)

財源内訳、内訳の欄は、次のとおり  
 単位未満の数値あり : 「0」 (ゼロ)  
 該当数値なし : 空白

地域独自の予算事業の決算説明は、本冊子では事業名、地域自治区、決算額のみ記載しています。実施内容等については、別冊の議会資料に記載しています。

(単位：千円)

決算書 (P126～P127)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
82,978	81,722			5,200		76,522
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,256			519	737	

## 【目的】

市民が気軽に文化・芸術に触れる機会や文化活動の発表の場を提供し、文化・芸術への関心を高めるとともに、主体的な文化・芸術活動を育むことで、文化の向上を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和6年度目標

入館者数：68,000人

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・指定管理の状況

導入開始年度：平成17年度

指定期間：令和2年度～令和6年度(5年間)

指定管理者名：株式会社 NKS コーポレーション(本社：新潟市)

## ・芸術文化事業の内容

(単位：人)

区分	事業名	入場(参加)者数
鑑賞事業	尾崎裕哉&宮本貴奈 Bouquet Songs Concert	335
	椎名豊 Inspired Swing Sextet	75
	宮本貴奈 Special Jazz Concert	253
	DRUM TAO (和太鼓演奏グループ) 上越公演	351
	松浦航大&よよよちゃん 歌まねスペシャルライブ	1,084
	東京スカパラダイスオーケストラ 上越公演	1,363
	HY 25th Anniversary Best!!	1,378
	Kary TOUR 2024-2025	
	松平健 スペシャルコンサート	1,554
	スターダスト☆レビュー 45周年ツアー	870
	エヴァ・ゲヴォルギヤン ピアノリサイタル	418
	日米親善コンサート	724
シエナ・ウインド・オーケストラ スペシャルコンサート	450	

決算書 (P126～P127)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

区分	事業名	入場(参加)者数
鑑賞事業	林家正蔵落語会 (林家正蔵、林家はな平、林家つる子)	181
	クレ4 (4名のお笑い芸人によるステージイベント)	1,331
	ワハハ本舗 40歳記念全体公演	1,356
	第二回上越演芸大全	650
	第二回えちご上越能	480
	スモールコンパクトパフォーマンス	
	フラメンコギターデュオ 徳永兄弟 (ギター)	170
	柏木広樹 (チェロ、コーラス)、光田健一 (ピアノ、ボーカル)、里アンナ (ボーカル)	126
	廣津留すみれ (ヴァイオリン)、河野紘子 (ピアノ)	163
	→P i a <sup>ピアノジャック</sup> - n o - j a C ← (ピアノ、カホン)	162
	仮面ライダースーパーライブ	1,462
	きかんしゃトーマスミュージカル	652
	劇団四季「ジーザス・クライスト＝スーパースター」	1,088
	小計 24事業	16,676
普及事業	ソプラノ (鶴木絵里、松本康子)	449
	リコーダーとリュート (吉澤実、永田平八)	382
	狂言 (山本則秀、山本則孝、若松隆)	483
	和太鼓 (上田秀一郎)	670
	打楽器アンサンブル (倉澤桃子、本間美恵子、藤島玲子)	400
	落語 (林家はな平)	282
	フラメンコ (三枝雄輔、鈴木眞澄、永瀧三貴生、尾藤大介)	502
	小計 7事業	3,168
創造事業	上越真夏の音楽祭	221
	小川未明フェスティバル2024	115
	第6回上越マーチングバンドコンサート	623
	上越シニア劇団定期公演	284
	小計 4事業	1,243
育成事業	上越マーチングバンド育成事業	1,071
	上越シニア劇団活動事業	1,012
	上越文化会館ロビーコンサート	221
	小計 3事業	2,304
合計	38事業	23,391

※ 鑑賞事業：多様な市民ニーズを捉えた質の高い芸術作品を招へいする事業

※ 普及事業：アーティストが町内会や小・中学校に出向いて演奏等を行うアウトリーチ事業

※ 創造事業：新たな文化・芸術活動を創り出す市民参加型の事業

※ 育成事業：マーチングバンドや劇団活動などを通して、市民の文化意識の向上を図る事業

決算書 (P126～P127)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数等

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計 画	実 績
利用件数	819件	964件	-	1,027件
利用者数	60,092人	63,867人	68,000人	80,723人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実 績
①収入	国庫支出金	-	-	-	-
	市債	-	-	5,200	5,200
	諸収入	-	-	-	-
	合計	-	-	5,200	5,200
②支出	上越文化会館管理運営委託料	70,803	68,208	68,208	68,208
	再算定による増減額 ※1	2,595	-	-	-
	施設管理委託料	1,265	852	671	660
	報償費	34	34	135	115
	費用弁償	1	1	3	2
	修繕料	1,176	2,812	1,766	1,765
	施設整備工事	-	5,876	9,382	8,874
	備品購入費	47	2,090	209	209
	エネルギー価格高騰補填金 ※2	4,758	883	2,365	1,650
	令和6年能登半島地震損害補填金 ※3	-	48	-	-
	その他	-	42	239	239
合計	78,084	80,846	82,978	81,722	
③公費投入額 (②-①)		78,084	80,846	77,778	76,522
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)		1,299	1,266	1,144	948

※1 新型コロナウイルス感染症の影響等があった指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増減した額

※2 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

※3 令和6年能登半島地震の影響による損害の協議申し入れがあった指定管理施設について、損害額を算定し補填したもの

決算書 (P126～P127)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

○指定管理者の収支状況等

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計画	実績
収入				
利用料金収入	11,331	10,723	13,300	11,010
上越文化会館管理運営委託料	70,803	68,208	68,208	68,208
再算定による増減額	2,595	-	-	-
補助金・助成金	1,559	5,260	1,820	※1 1,004
エネルギー価格高騰補填金	4,758	883	-	1,650
令和6年能登半島地震損害補填金	-	48	-	-
その他(入場料等)	17,457	21,490	41,469	44,963
収入計 ①	105,908	106,612	124,797	126,835
支出 ②	105,794	104,978	124,797	134,341
差引 (①-②)	114	1,634	0	△7,506

※1 独立行政法人 日本芸術文化振興会「芸術文化振興基金」(対象事業：上越シニア劇団)、文化庁「劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」(対象事業：「エヴァ・ゲヴォルギヤン ピアノリサイタル」)

○目標達成状況

入館者数は80,723人(目標68,000人：達成率118.7%)となり、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・鑑賞事業では、幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象としたミュージカルやコンサート、演芸などを実施し、優れた舞台芸術作品の鑑賞機会を提供した。
- ・普及事業では、アーティストが小・中学校や町内会へ出向いて公演を行う「アウトリーチ事業」を7事業22か所で実施し、身近な場所でプロの実演を気軽に鑑賞する機会を提供した。
- ・創造事業では、未明童話「青いランプ」をテーマに「小川未明フェスティバル2024」を開催し、小学生による読書感想文の発表や、ジュニア合唱団による創作合唱等を行い、郷土の偉人を顕彰する場とした。
- ・育成事業では、マーチングバンドや劇団活動を通して、市民の文化意識の向上を図ったほか、市民が気軽にコンサートを実施できる機会を提供するため、1階ロビーを無料で開放し、5団体から利用を得て、利用者及び入館者から好評を得た。
- ・利用者の利便性を向上させるため、上越文化会館正面玄関を自動ドアに更新した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・入館者数を増やすため、引き続き、来館者のアンケート結果や他館の公演状況をリサーチし、多様なジャンルの事業を企画していく。
- ・建物や機械設備等の老朽化が進んでいることから、計画的に改修を進め、安全で利用しやすい環境を整える。

決算書 (P126～P127)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

**【執行残額について】**

入札差金：施設管理委託料、施設改修工事、給湯器設置工事 519

その他：委員報酬、エネルギー価格高騰補填金等が当初見込みを下回ったことによる執行残  
737

(単位：千円)

決算書 (P130～P131)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源活用推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
10,708	9,734	100			1,506 (繰入金)	8,128
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	974					974

### 【目的】

市民による歴史資源の魅力をいかしたまちづくりを推進するため、地域に対する誇りと愛着の涵養を図るとともに、歴史的建造物の継承のための保存や活用を通じて、地域の活性化と文化の振興を図る。

### 令和6年度の取組

### 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

歴史資源を活用した街なか回遊の促進と賑わいの創出 332

#### ○令和6年度目標

貴重な歴史資源への関心を高め、観光客等の街なか回遊を促進する。

#### ○実施内容、これまでの経過等

##### (1) 民間や市が所有する町家の公開

街なかの回遊性の向上や賑わいを創出するため、見学可能な町家の情報を市ホームページで紹介し、市民団体等と連携しながら町家の公開を行った。

##### (2) 雁木と町家の魅力の発信

高田城址公園で開催される観桜会や観蓮会に合わせ、市民団体等と連携し、町家交流館高田小町において「町家ガイド」による雁木と町家の特徴等を解説することにより、地域の歴史や文化の魅力を発信した。

観桜会及び観蓮会開催時に5館共通入館券を購入した人や高田城ロードレースの参加者に対して、ガイドブックを配付し、来訪者の街なか回遊を図った。

#### ○目標達成状況

高田地区の歴史資源である雁木や町家に関する情報を発信し、訪れた人々に街なかを回遊してもらうことで、街なかの賑わい創出に寄与した。

歴史的旧家連携交流支援事業 200

#### ○令和6年度目標

市内に点在する歴史的建造物への関心を高めるとともに、地域資源の継続的な発信と活用に向けた取組を支援し、交流人口の拡大を促進する。

決算書 (P130～P131)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源活用推進事業		

○実施内容、これまでの経過等

各種メディアに取り上げてもらうことで、上越名家4邸の周知拡大を図るため、「NPO法人上越名家ネットワーク」に補助金を交付し、放送局等へ提案する企画書の作成を支援した。

○目標達成状況

市が補助金を交付し、各種メディアを通じた交流人口の拡大に向けた足掛かりとするため、上越名家4邸を紹介する企画書を作成し、各種メディアにPRする素材を整えることができた。

雁木整備事業補助金の交付 2,290

○令和6年度目標

市民への経済的支援を行うことにより、雁木整備を促進する。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 指定地区における雁木の新築・修繕、雁木下通路の段差解消工事に対して補助金を交付した。

(2) 令和5年度から新潟県空き家活用支援事業を活用し、県外転入者及び子育て世帯を対象とした補助金加算額を設けた。※利用実績なし

<令和6年度末までの地域指定及び補助金の交付状況>

年度	地域指定		補助金交付	
	地域数	指定距離 (m)	件数 (件)	金額
平成16年度～令和5年度	26	10,774	162	63,381
令和6年度	0	0	8 内訳 新築 2[16.3m] 修繕 6[40.1m]	2,290
合計	26	10,774	170	65,671

○目標達成状況

申請のあった8件全てに補助金を交付し、市民による雁木整備が促進された。

地域独自の予算事業 4,566

- ・風鈴街道 in 雁木 2024 開催事業 (高田区) (210)
- ・高田小町周辺案内マップ改訂と小町広場上映事業 (高田区) (358)
- ・地域資源を活かした高田まちづくり事業 (高田区) (570)
- ・「レルヒのアルバム」の発行及び顕彰事業 (金谷区) (1,352)
- ・林富永邸一般公開応援事業 (三和区) (2,076)

その他 2,346

- ・寺院群都市会議負担金等
- ・歴史資源活用推進事業を実施するための報酬、共済費、旅費ほかの事務費

決算書 (P130～P131)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源活用推進事業		

**【事業の成果】**

- ・市民団体等と連携して、雁木や町家、歴史的旧家の魅力を市内外に発信し、歴史資源を活用した誘客と回遊を促進することができた。
- ・雁木整備事業補助金の交付により、市民による雁木の保全につなげることができた。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

市民団体等と連携しながら、市内に残る貴重な歴史資源である雁木の保全と町家、歴史的旧家の活用に向けた取組の継続が必要である。

**【執行残額について】**

その他：雁木整備事業補助金の交付額が当初見込みを下回ったことによる執行残 500  
地域独自の予算事業の執行残 196  
会計年度任用職員報酬、自動車借上料等が当初見込みを下回ったことによる執行残 278

(単位：千円)

決算書 (P130～P131)	2 款 1 項 21 目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化振興企画費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
13,086	12,259				262 (諸収入)	11,997
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	827			163	664	

### 【目的】

当市の文化振興に資するため、市民が気軽に文化、芸術に親しめる環境づくりを進めるとともに、市民参加が可能な文化事業の充実を図る。

### 令和 6 年度の取組

#### 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

市民の文化活動推進事業、その他一般事務費 3,801

##### ○令和 6 年度目標

市民の文化・芸術活動の裾野を広げ、地域の「文化の力」の醸成を図る。

##### ○実施内容、これまでの経過等

###### (1) 文化振興に関する情報の収集及び提供

市民の自主的な文化・芸術活動を支援するため、国・県などが行う各種助成事業について、市ホームページや文化・芸術活動団体が集う機会等を通じて情報提供を行った。

###### (2) 上越まるごと文化祭

市内各地で秋(9月から11月まで)に開催される多彩な文化・芸術の催しを紹介するリーフレットを作成・配布し市内外に周知するとともに、高い技術力や表現力を有する文化・芸術団体による上質なパフォーマンスを披露・鑑賞できる「プレミアムパフォーマンス」を開催した。

期 日：10月20日(日)

会 場：上越文化会館 大ホール

参加者数：506人(鑑賞者415人、出演者8組91人)

##### ○目標達成状況

上越まるごと文化祭としてリーフレットを作成し、市民の文化・芸術活動の裾野を広げるとともに、「プレミアムパフォーマンス」を開催し、合唱やダンス、ピアノ、民俗芸能など多様なジャンルの個人や団体からパフォーマンスを披露いただくことで、「文化の力」の醸成を図ることができた。

決算書 (P130～P131)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化振興企画費		

地域の歴史的・文化的資源の保存と継承 1,400

○令和6年度目標

郷土の偉人の顕彰活動団体と連携し、地域の歴史的・文化的資源を広く発信する。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 郷土の偉人顕彰事業

郷土の偉人の顕彰活動団体の取組を支援するため、令和6年度は前島密、小川未明に加え、生誕160周年を迎えた日本音楽教育の母・小山作之助を顕彰する市民団体に対し、「郷土の偉人顕彰事業交付金」を交付した。

また、顕彰活動団体と連携し、必要に応じて助言等を行うことで、顕彰活動の発展・活性化に努めた。

(2) 高田瞽女顕彰事業

① 高田瞽女ゆかりの地を巡るバスツアー

市民団体と連携し、ゆかりの地を巡るバスツアーの実施を支援し、市民等が高田瞽女の歴史や文化に触れる機会を提供した。

期 日：6月9日（日）

テ ー マ：高田瞽女・杉本カツのゆかりの地を巡る（中頸城・妙高高原方面）

参加者数：36人（市内17人、市外19人）

② 瞽女唄CDの制作・販売

平成3年度に市が制作した瞽女唄CDの音源を使用して新たにCDを50セット制作し、市民等に販売した。

(3) 民謡音源の保存・活用

将来にわたって地域の民謡を継承するため、地方が唄う曲を収録し、音源を保存する予定であったが、市民団体が自主的に音源を収録しCDにしたことからCDの購入に切り替え、音源を確保した。

○目標達成状況

郷土の偉人や高田瞽女の顕彰活動に取り組む市民団体と連携し、地域の歴史的・文化的資源を市民等に広く発信することができた。

地域独自の予算事業 7,058

- ・北部地区の文化・賑わいを創出する事業（高田区）（466）
- ・第3回にいがた水墨画フェスティバル開催事業（高田区）（600）
- ・お馬出しプロジェクト事業（高田区）（460）
- ・高田瞽女の文化の発信事業（高田区）（220）
- ・芳澤謙吉翁顕彰事業（諏訪区）（219）
- ・戸野目・四ヶ所雁木通り活性化支援事業（津有区）（448）
- ・前島密翁献碑祭102周年事業（津有区）（1,151）
- ・第15回浦川原和太鼓祭（浦川原区）（751）
- ・川上山里の風コンサート事業（牧区）（673）
- ・3世代交流事業人魚の塚継承（大瀧区）（667）
- ・チェコ共和国の音楽家との文化交流事業（吉川区）（735）
- ・板倉区の史跡文化財を広め交流人口の増加を狙う（板倉区）（396）
- ・名立太鼓40周年記念事業（名立区）（272）

決算書 (P130～P131)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化振興企画費		

#### 【事業の成果】

- ・上越まるごと文化祭のリーフレットに掲載した市内各地の様々な催しに市民が足を運び、活動の様子を体感することにより、地域が持つ魅力を改めて認識してもらうことができた。また、高い技術力や表現力を持つ上質なパフォーマンスを披露・鑑賞できる「プレミアムパフォーマンス」を開催したことにより、出演した文化芸術団体等の更なるレベルアップを図った。
- ・郷土の偉人や高田瞽女の顕彰活動に取り組む市民団体と連携し、地域の歴史的・文化的資源を市民等に広く発信し、顕彰活動の発展・活性化に寄与することができた。

#### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

市民の文化・芸術活動への関心を高め、自主的な活動につなげるため、引き続き、市民が文化芸術に触れる機会を提供するとともに、市内各地の文化・芸術活動に関する情報の把握と発信に取り組む。

#### 【執行残額について】

入札差金：印刷製本費 163

その他：会計年度任用職員報酬、燃料費、備品修繕料等が当初見込みを下回ったことによる執行残 366

地域独自の予算事業補助金の執行残 298

(単位：千円)

決算書 (P130～P133)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
24,460	22,120				726 (使用料、諸収入)	21,394
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,340			75	2,265	

**【目的】**

- 旧師団長官舎の管理運営：市文化財である明治期の洋風建築を適切に維持管理するとともに、観光施設として活用することで、地域の賑わい創出及び文化の振興を図る。
- 高田まちかど交流館の管理運営：市文化財である昭和初期の銀行建築を適切に維持管理するとともに、施設の利用促進を通じて、地域の賑わい創出及び文化の振興を図る。
- ライオン像のある館の管理運営：市文化財である明治期の銀行建築を適切に維持管理するとともに、施設の利用促進を通じて、地域の賑わい創出及び文化の振興を図る。
- 旧今井染物屋等の管理運営：市文化財である江戸時代末期の町家建築を適切に維持管理するとともに、地域文化の継承と発信の拠点施設として活用する。

## 令和6年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

旧師団長官舎の管理運営 6,322

○令和6年度目標

入館者数：9,000人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 文化財の維持管理と地域文化の振興

市文化財である施設を保存するため、建物や庭園を適切に維持管理するとともに、一般公開を通じて地域文化を発信した。

(2) 民間事業者によるレストランとしての活用

一般公開に加え、令和3年度から民間事業者によるレストランとしての活用を継続し、施設の魅力向上を図った。

決算書 (P130～P133)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

○施設の管理実績

・入館者数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計画	実績
入館者数	10,790人	8,158人	9,000人	8,221人
うち レストラン利用者	2,503人	2,226人		1,872人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	14	14	16	14
	合計	14	14	16	14
②支出	施設維持管理費	3,305	4,293	6,463	6,322
	うち委託料	2,468	2,517	4,894	4,783
	その他	-	-	-	-
	合計	3,305	4,293	6,463	6,322
③公費投入額 (②-①)		3,291	4,279	6,447	6,308
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		305	525	716	767

○目標達成状況

観桜会期間中は施設見学者が増え、昨年度同時期と比較して入館者数は増加したが、年間を通じて郊外学習やレストラン利用者が減少したことから、入館者数は8,221人(目標9,000人:達成率91.3%)となり、目標を達成することができなかった。

高田まちかど交流館の管理運営 5,141

○令和6年度目標

入館者数:26,000人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 施設の管理運営

有限会社高田酒類会館に事務室及び会議室を貸し付けるとともに、施設の管理運営業務を委託した。

(2) 街なか回遊の拠点としての活用

街歩きを行う市民や観光客の見学と休憩に利用されたほか、当館及び商店街で開催される催しや観光に関するパンフレットなどを配置し、街なか回遊のための情報提供を行った。

(3) イベント、文化活動などの場の提供

施設管理受託業者である有限会社高田酒類会館や本町商店街が行うイベントの会場のほか、合唱の練習や各種コンサート、ワークショップなどの文化活動の場として活用された。

決算書 (P130～P133)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

(4) 「高田まちかどフェスティバル」の開催

バンド演奏や合唱、ダンスなど、市内を中心に活動する個人や団体が出演する「高田まちかどフェスティバル」を年2回開催し、市民が気軽に文化、芸術に触れる場を提供するとともに、街なかの賑わい創出に取り組んだ。

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				計画	実績
入館者数		22,574人	30,786人	26,000人	26,978人
うち 貸室利用	利用件数	201件	178件		271件
	利用人数	6,262人	19,197人		15,700人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	497	419	394	459
	その他	176	1,237	166	163
	合計	673	1,656	560	622
②支出	施設維持管理費	7,493	6,761	5,448	5,141
	うち委託料	3,436	3,108	2,761	2,554
	その他	-	-	-	-
	合計	7,493	6,761	5,448	5,141
③公費投入額 (②-①)		6,820	5,105	4,888	4,519
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		302	166	188	168

○目標達成状況

入館者数は26,978人(目標26,000人:達成率103.8%)となり、目標を達成することができた。



市主催イベントの様子  
(高田まちかどフェスティバル 2024 秋)



施設管理受託業者等によるイベントの様子  
(越後・謙信SAKEまつり)

決算書 (P130～P133)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

ライオン像のある館の管理運営 2,305

○令和6年度目標

入館者数：5,600人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 街なか回遊の拠点としての活用

日本遺産北前船に関するパネル展示により、直江津の歴史と文化の発信を行ったほか、地域のまちづくり団体が主体となり、ゴールデンウィーク及び祇園祭でのマルシェやキーホルダー作りが催されるなど、施設の活用が図られた。

(2) イベント、文化活動などの場の提供

文化団体等が行う演奏会やマルシェ、「なおえつうみまちアート」の展示会場の一つとして利用されるなど、施設の利用を通じて直江津の街なかの賑わい創出に取り組んだ。

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				計画	実績
入館者数		5,009人	5,986人	5,600人	5,961人
うち 貸室利用	利用件数	44件	51件		41件
	利用人数	3,763人	4,895人		4,816人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
	合計	-	-	-	-
②支出	施設維持管理費	2,429	4,419	2,731	2,305
	うち委託料	1,881	1,752	2,118	1,737
	その他	-	-	-	-
	合計	2,429	4,419	2,731	2,305
③公費投入額 (②-①)		2,429	4,419	2,731	2,305
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位：円)		485	738	488	387

○目標達成状況

入館者数は5,961人(目標5,600人:達成率106.4%)となり、目標を達成することができた。

決算書 (P130～P133)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		



なおえつうみまちアートの展示の様子  
(ドレメ5人展)



貸館イベントの様子 (マルシェ)

旧今井染物屋等の管理運営 8,352

○令和6年度目標

入館者数：9,200人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 地域文化の継承と発信及び施設の活用促進

- ・地元のバテンレース事業者と連携し、制作技術の習得を目的とした講座や初心者向けの入門講座を開催し、技術の継承や発信に取り組んだ。
- ・藍染めやガラス工芸、陶芸など地元を中心に活動する職人や手仕事作家の制作実演や体験受入れなどの活動の場として、施設の活用を促進した。
- ・手仕事文化の継承と発信を図るため、職人展やワークショップ、バテンレースをテーマとした催しを開催した。

(2) 街なかへの誘客と回遊の促進

催しの開催によって街なかへの誘客を図るとともに、町家交流館高田小町や高田世界館、警女ミュージアム高田などの近隣施設の情報を提供し回遊を促した。

(3) 旧金津憲太郎桶店の記録保存

市が所有する江戸時代後期の雁木町家「旧金津憲太郎桶店」について、歴史的建造物としての経緯を踏まえ、図面・写真・解説等による建物現況の記録保存を行った。

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				計画	実績
入館者数		8,918人	8,235人	9,200人	9,053人
うち 貸室利用	利用件数	127件	188件		131件
	利用人数	780人	702人		538人

決算書 (P130～P133)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	-	-	-	90
	合計	-	-	-	90
②支出	施設維持管理費	5,909	6,487	9,258	7,858
	うち委託料	1,871	2,201	3,752	2,809
	その他	-	560	560	494
	合計	5,909	7,047	9,818	8,352
③公費投入額 (②-①)		5,909	7,047	9,818	8,262
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		663	856	1,067	913

○目標達成状況

市主催イベントの内容を充実させたことにより、例年よりもイベントの来場者数が増加したが、貸館件数が減少したことにより、年間入館者数は9,053人(目標9,200人:達成率98.4%)となり、目標を達成することができなかった。



バテンレース入門講座の様子



夏休みワークショップの様子

【事業の成果】

- ・それぞれの歴史的建造物の特徴や歴史等を来館者に伝えるとともに、地域や商店街、市民団体と連携し、文化財としての趣をいかした誘客イベント等を開催したことにより、各施設が持つ魅力を改めて認識してもらうことができた。
- ・旧今井染物屋において、雪国高田の風土産業であるバテンレース技術の継承と発信に取り組むとともに、染色やガラス工芸、陶芸など地元を中心に活動する職人や手仕事作家による実演や制作体験のための工房として利活用を図ったことにより、地域文化の発信と継承、まちの賑わいを創出することができた。

決算書 (P130～P133)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・地域や商店街、市民団体等と連携し、各施設の特徴をいかしたイベントの実施などにより、引き続き誘客と街なか回遊の促進を図る。
- ・入館者数の目標を達成できなかった旧師団長官舎と旧今井染物屋については、周辺施設等と連携したイベントを実施するなどして、誘客の促進を図る。
- ・引き続き、来館者が安全・安心に利用できるよう、各施設の適切な維持管理を行うとともに、各施設や地域の歴史・文化などの情報について、市ホームページやSNS等を活用し、市内外に広く発信する。

**【執行残額について】**

入札差金：施設管理委託料 75

その他：会計年度任用職員報酬、光熱水費、施設管理委託料等が当初見込みを下回ったことによる執行残 2,265

(単位：千円)

決算書 (P132～P133)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
55,115	52,502			2,400	5,261 (使用料、財産収入、 諸収入)	44,841
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
—	2,613	42	—	179	2,392	

**【目的】**

- 町家交流館高田小町の管理運営：郷土の歴史的建造物を活用し、市民が集い、交流する場を提供することにより、賑わいと活力のある地域社会の形成を図る。
- 坂口記念館の管理運営：坂口記念館の適切な維持管理を行うとともに、文化勲章受章者で応用微生物学の世界的権威である坂口謹一郎博士を顕彰し、教育、学術及び文化の振興を図る。
- 小川未明文学館の管理運営：小川未明に関わる資料等の公開や各種講座の開催を通じて、未明とその作品に対する市民の関心を高めるとともに、郷土が生んだ“日本近代童話の父”小川未明を市内外に発信する。
- 小川未明文学賞の開催：小川未明文学賞の作品を公募し、小川未明の文学精神である「人間愛と正義感」を継承する優秀な創作児童文学作品を送り出すことにより、子どもたちの心に夢と希望を育むほか、市内外に向けて小川未明及び当市の情報を発信する。
- ミュゼ雪小町の管理運営：芸術活動及び文化交流の場を提供することにより、市民による芸術文化の振興を図り、賑わいと活力ある地域社会の形成に資する。

## 令和6年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

町家交流館高田小町の管理運営 11,264

## ○令和6年度目標

入館者数：24,000人

## ○実施内容、これまでの経過等

## (1) 街なか回遊の拠点としての活用

- ・街歩きを行う市民や観光客の休憩に利用されたほか、周辺エリアの回遊マップや各施設のパンフレット等を配置し、観光に関する情報提供を行った。
- ・高田世界館や瞽女ミュージアム高田等の近隣施設と連携し、バスツアーなどの来訪客の受入れを行った。

## (2) 集会・イベント、文化活動などの場の提供

会議や集会、習い事など、交流や文化活動、憩いの場を提供した。

## (3) 高田の歴史・文化の紹介

市民団体と連携し、雁木と町家等の懐かしい街並みのほか、かつての大雪の様子を伝える写真などを展示し、高田の歴史や文化を市民や観光客等に紹介した。

決算書 (P132～P133)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				計画	実績
入館者数		22,306人	25,210人	24,000人	25,850人
うち 貸室利用	利用件数	1,078件	1,148件		1,365件
	利用人数	10,319人	13,216人		14,012人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	1,110	1,298	1,122	1,508
	その他	44	45	21	46
	合計	1,154	1,343	1,143	1,554
②支出	施設維持管理費	10,481	11,976	11,813	11,264
	うち委託料	7,970	8,227	9,187	8,703
	その他	-	-	-	-
	合計	10,481	11,976	11,813	11,264
③公費投入額 (②-①)		9,327	10,633	10,670	9,710
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位：円)		418	422	445	376

○目標達成状況

入館者数は25,850人(目標24,000人:達成率107.7%)となり、目標を達成することができた。

坂口記念館の管理運営 10,481

○令和6年度目標

入館者数:3,600人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 坂口謹一郎博士の顕彰

所蔵資料を活用し、展示や映像などで博士の業績や人物像を紹介した。また、博士の生誕日(11月17日)を含めた3日間を「入館無料デー」として、博士の業績に気軽に触れる機会を提供した。

(2) 定期的な事業の開催

- ・4月に「坂口謹一郎博士と酒とつばきの祭典」、11月に「入館無料デー」、2月から3月にかけて雛人形を展示する「ひなまつり」を開催した。
- ・新たな企画として「入館無料デー」に合わせて坂口記念館を着物で観賞するイベントを実施したほか、「ひなまつり」では園児から塗り絵を募集し展示した。

決算書 (P132～P133)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

(3) 集会、文化活動等の場の提供

地域独自の予算事業で発酵講座や味噌づくり体験、ヒメイワダレソウなどの挿し木の方法を学ぶ講習会のイベントを実施したほか、博士と川上善兵衛との関わりを学ぶ講座など、公民館活動の場を提供した。

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				計 画	実 績
入館者数		3,544人	3,631人	3,600人	3,887人
うち 貸室利用	楽縫庵占用利用件数	75件	78件		78件
	楽縫庵占用利用者数	793人	863人		978人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実 績
①収入	使用料収入	716	699	769	733
	その他	32	18	61	40
	合計	748	717	830	773
②支出	施設維持管理費	7,731	10,643	11,021	10,403
	うち委託料	5,272	5,307	6,043	6,001
	その他	-	77	80	78
	合計	7,731	10,720	11,101	10,481
③公費投入額 (②-①)		6,983	10,003	10,271	9,708
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		1,970	2,755	2,853	2,498

○目標達成状況

入館者数は3,887人(目標3,600人:達成率108.0%)となり、目標を達成することができた。

決算書 (P132～P133)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

小川未明文学館の管理運営 5,701

○令和6年度目標

入館者数：24,000人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 特別展の開催

名称	会期	内容	入館者数
小川未明のお宝展	令和6年3月23日(土) ～4月21日(日)	文学館や小川家の所蔵資料から、屏風や自筆原稿、身の回り品などの資料を展示	2,950人
第32回小川未明文学賞展	4月27日(土)～ 5月26日(日)	大賞・優秀賞受賞作品の紹介や作品の講評、贈呈式の様子を展示	1,584人
高村木綿子が描く「赤いろうそくと人魚」絵本原画展	10月5日(土)～ 12月15日(日)	絵本の原画28点、下絵3点、文学館所蔵「赤い蠟燭と人魚」収録誌20点を展示	7,041人
小川未明フェスティバル・童話感想文コンクール受賞展	令和7年1月24日(金) ～3月2日(日)	小川未明フェスティバルの様子や童話感想文コンクールの受賞作文を紹介	2,636人

(2) 各種講座等の開催

① 文学館講座

開催日	演題	講師	入館者数
6月9日(日)	未明童話「赤い船のお客」を読む	小埜裕二氏(上越教育大学教授・小川未明文学館専門指導員)	33人
8月17日(土)	人・文学・地域	富塚昌輝氏(中央大学文学部准教授)	33人
10月27日(日)	文学と生物学における動物のとらえ方	片野修氏(佐久大学非常勤講師)	41人

② 特別展記念講演会

開催日	演題	講師	入館者数
11月17日(日)	「赤い蠟燭と人魚」の世界	小埜裕二氏(上越教育大学教授・小川未明文学館専門指導員)	37人

③ 童話創作講座

期 日：5月26日(日)、6月23日(日)、7月28日(日)

講 師：牧野節子氏(児童文学作家)

受講者数：15人

④ 朗読研修会

期 日：6月15日(土)、6月22日(土)、7月6日(土)

講 師：橘由貴氏(朗読療法士・ヴォイスアーティスト)

受講者数：22人

決算書 (P132～P133)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

⑤ 子ども向け事業

名称	内容	参加者数
小川未明文学館 こども祭	小川未明に関するクイズや、未明童話に登場するモチーフを使ったペーパークラフト制作を実施(5月11日(土)、10月27日(日)開催)	240人
未明童話の小冊子の 配布	月替わりで1作品ずつ冊子にした未明童話が無償配布(随時、小学校低学年用と中学年用の2種類を作成)	1,075人

⑥ 朗読ボランティアによるおはなし会

名称	内容	参加者数
文学館おはなし会	文学館の入館者を対象に未明童話を朗読(22回開催)	183人
出張おはなし会	市内の小学校及び放課後児童クラブを訪問し、未明童話を朗読(小学校18回、放課後児童クラブ6回開催)	897人
特別展おはなし会	特別展「高村木綿子が描く「赤いろうそくと人魚」絵本原画展」の開催に合わせて、パネルシアターや映像・音楽を用いて未明童話を朗読(10月27日(日)開催)	21人

(3) 文学館資料の収集・調査及び活用

未明の自筆資料、初版本、近代文学・児童文学に関する資料・図書等の収集及び調査のほか、文学館の所蔵資料を活用した展示を行った。

(4) 館報の刊行

館報(年刊)を刊行し、文学館の事業やボランティアの活動などを広く紹介した。

・発行部数 1,000部

(5) 文学館専門指導員の設置

文学館の事業や運営、資料収集、展覧会の企画内容などについて、小川未明研究の第一人者である小笠裕二専門指導員(上越教育大学教授)から指導や助言を受けながら、必要な資料の収集や効果的な資料展示を行った。

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				計画	実績
入館者数		23,096人	25,741人	24,000人	34,320人
うち 貸室利用	利用件数	12件	9件		9件
	利用人数	5,166人	5,514人		5,451人

決算書 (P132～P133)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	262	199	274	215
	その他	154	41	45	39
	合計	416	240	319	254
②支出	施設維持管理費	3,351	3,446	3,623	3,391
	うち委託料	-	-	-	-
	その他	4,565	1,753	2,418	2,310
	合計	7,916	5,199	6,041	5,701
③公費投入額 (②-①)		7,500	4,959	5,722	5,447
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		325	193	238	159

○目標達成状況

入館者数は34,320人(目標24,000人:達成率143.0%)となり、目標を達成することができた。

小川未明文学賞の開催 3,740

○令和6年度目標

小川未明文学賞応募数:570編

○実施内容、これまでの経過等

第33回小川未明文学賞

小川未明文学賞委員会へ交付金を交付

<応募数> 639編(短編部門352編・長編部門287編)(うち市民からの応募12編)

<受賞作> 大賞(1編)「ほーちゃんと、旅に出る」(長編部門)

作者 黒田 季菜子氏(大阪府)

優秀賞(1編)「まねき猫よろず相談所」(長編部門)

作者 岩田 早苗氏(東京都)

<贈呈式> 開催日:令和7年3月29日(土)

会場:デュオ・セレッソ

内容:小川未明文学賞最終選考委員による講評、受賞者の挨拶、講演

決算書 (P132～P133)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		



最終選考委員による講評の様子



大賞受賞者の挨拶の様子

○目標達成状況

小川未明文学賞応募数は 639 編（目標 570 編：達成率 112.1%）となり、目標を達成することができた。

ミュゼ雪小町の管理運営 20,869

○令和6年度目標

入館者数：47,000人

○実施内容、これまでの経過等

文化・芸術活動などの場の提供

美術館的仕様のギャラリーや、創作活動、集会機能を持つ多目的室の貸室を行い、市民や市民団体等が開催する展覧会やダンスの練習、会議等の会場として利用された。

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				計画	実績
入館者数		46,486人	46,277人	47,000人	45,637人
うち 貸室利用	利用件数	535件	532件		583件
	利用人数	13,391人	12,820人		14,007人

※複数日の貸室の場合は1日1件でカウント、使用場所が複数の場合は1件でカウント

決算書 (P132～P133)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	2,500	2,202	2,206	2,681
	その他	50	-	2,400	2,400
	合計	2,550	2,202	4,606	5,081
②支出	施設維持管理費	16,433	16,977	21,748	20,869
	うち委託料	8,749	8,505	8,485	8,462
	その他	-	-	-	-
	合計	16,433	16,977	21,748	20,869
③公費投入額 (②-①)		13,883	14,775	17,142	15,788
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		299	319	365	346

○目標達成状況

必要な修繕を速やかに行うとともに、市民交流スペースの一部に飲食スペースを設けたり、机と椅子を増設したりするなど、利用者の利便性向上に取り組んだが、入館者数は45,637人(目標47,000人:達成率97.1%)となり、目標を達成することができなかった。

地域独自の予算事業 447

- ・坂口記念館の特色を活かした講座事業(頸城区)(101)
- ・花の苗 里親育成事業(頸城区)(346)

【事業の成果】

- ・新たに市主催で、着物での坂口記念館の観賞や塗り絵の展示といったイベントを実施した。また、発酵をテーマにした講座や挿し木講習会を通じて博士の偉業や坂口記念館の魅力を発信し、利用者増につなげることができた。
- ・特別展や各種講座、おはなし会などの開催を通して、市民から小川未明の業績に触れてもらい未明作品に親しんでもらうことができた。
- ・小川未明文学賞について、メールでの応募を可能とし、より手軽に応募できる環境を整えたことにより、応募数が昨年度比で86件増加し、年代別では、20歳代、30歳代の応募が20件増加した。
- ・ミュゼ雪小町のギャラリーや多目的室の貸室を通じ、市民や市民団体等の文化・芸術活動の場を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・町家交流館高田小町を拠点とする街なか回遊を促進するため、引き続き、高田世界館や馨女ミュージアム高田、旧今井染物屋などの近隣施設と連携し、地域の歴史資源の魅力を発信する。
- ・令和9年度に坂口博士生誕130周年を迎えることから、博士の業績を発信するとともに、より多くの方から来館いただけるよう、引き続き、坂口記念館での市主催イベントや各種講座を開催し誘客を図る。
- ・小川未明の作品や業績に関して市民の認知度をさらに高めるため、引き続き、小川未明文学館で開催する特別展や特集展示、各種講座の内容を充実させていく。

決算書 (P132～P133)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

**【執行残額について】**

事業費節減：坂口記念館のごみ収集回数の見直し等による施設管理委託料の減 42

入札差金：印刷製本費、施設管理委託料、工事請負費 179

その他：会計年度任用職員報酬、費用弁償等が当初見込みを下回ったことによる執行残  
1,052

町家交流館高田小町の除雪委託等の実績が当初見込みを下回ったことによる施設  
管理委託料の執行残 484

ミュゼ雪小町が入居する、あすとぴあ高田に係る共益費負担金等が当初見込みを下  
回ったことによる執行残 856

(単位：千円)

決算書 (P258～P259)	7款1項1目 商工総務費	所管課等	観光振興課
事業名	露店市場運営事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
17,836	17,295				6,045 (手数料、諸収入)	11,250
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	541			20	521	

## 【目的】

朝市を開設し、百年以上続く生活文化を次の世代につないでいくとともに、高田城址公園観桜会、各区のお祭りなどにおいて移動露店を開設し、賑わいの創出を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和6年度目標

朝市1回当たりの平均出店数：91店

## ○実施内容、これまでの経過等

## (1) 朝市の開設

## ・常設露店

朝市の開催

(合併前上越市) 二・七の市、三・八の市、四・九の市

(柿崎区) 一の日市

## ・常設露店の推移

常時出店数

	合併前上越市			柿崎区	合計
	二・七の市	三・八の市	四・九の市	一の日市	
令和4年度	31店	26店	22店	6店	85店
令和5年度	25店	22店	17店	5店	69店
令和6年度	20店	18店	15店	4店	57店

決算書 (P258～P259)	7款1項1目 商工総務費	所管課等	観光振興課
事業名	露店市場運営事業		

臨時出店数 (1回あたりの平均臨時出店者数)

	合併前上越市			柿崎区	合計
	二・七の市	三・八の市	四・九の市	一の日市	
令和4年度	17店	8店	8店	3店	36店
令和5年度	12店	8店	7店	2店	29店
令和6年度	13店	7店	7店	2店	29店

- ・上越市露店市場運営委員会の開催  
(委員構成…学識経験者、関係行政機関の代表、市場開設区域内の町内会長の代表、露店出店者の代表、市場開設関係団体の代表、公募に応じた市民 合計21人)  
<12月10日(火)>  
露店市場出店状況等の報告について  
移動露店について  
意見交換
- ・朝市活性化検討会の開催  
(委員構成…市場管理受託者、露店出店者の代表)  
<10月23日(水)>  
更新手続きについて  
令和7年度の計画について
- ・無料駐車券交付  
朝市への集客と朝市利用による迷惑駐車解消を図るため、朝市で商品を購入した駐車場利用者に対し、本町商店街駐車場(3・4・5丁目)の30分無料駐車券の配布を行った。

	高田地区の朝市		合計
	二・七の市	四・九の市	
令和4年度	123枚	250枚	373枚
令和5年度	100枚	226枚	326枚
令和6年度	105枚	149枚	254枚

- ・イベントの開催  
若年層やファミリー層など幅広い世代へ朝市を知ってもらうことを目的に、パンやスイーツなど出店品目を限定したイベントを5回開催した。

イベント名	実施日	開催場所	出店数
菓子・パンまつり	6月1日(土)	一の日市	5店
菓子・パンフェア	9月21日(土)	一の日市	7店
朝市スイーツまつり	9月23日(月・祝)	三・八の市	10店
朝市パンまつり	10月12日(土)	二・七の市	5店
朝市スイーツまつり	10月19日(土)	四・九の市	7店

決算書 (P258～P259)	7款1項1目 商工総務費	所管課等	観光振興課
事業名	露店市場運営事業		

(2) 移動露店

会場及び移動露店出店数

会場	令和4年度	令和5年度	令和6年度
高田城址公園観桜会	40店	61店	211店
八坂神社春祭礼	中止	中止	5店
上越まつり・高田本町	中止	16店	14店
上越まつり・三八通り	45店	49店	52店
上越まつり・八坂神社	16店	11店	12店
謙信公祭	14店	7店	6店
坂田池観桜会(柿崎区)	中止	11店	11店
お引き上げ商工まつり(柿崎区)	51店	77店	95店
納涼花火大会(柿崎区)	10店	10店	10店
菅原神社例大祭(清里区)	中止	中止	中止

○目標達成状況

常設露店では、出店者の高齢化や、常時出店者が臨時出店に変更したことによる出店回数の減により、朝市1回当たりの平均出店数は86店となり、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

令和3年度から継続して実施している、パンやスイーツ等をテーマとしたイベントを開催したことにより、若者やファミリー層など幅広い世代の来場があり、活性化を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・出店者の高齢化や後継者不足等により年々常時出店者数が減少していることから、新たな業種の掘り起こしなど、関係団体と朝市の利用促進や出店者の確保に向けた取組について協議していく。
- ・来場者の増加を図るため、今まで朝市に足を運んだことのない人や、朝市を認知していない人に対するPR方法について、引き続き朝市組合及び関係者と協議しながら進めていく。

【執行残額について】

入札差金：出店許可証印刷に係る入札差金 20  
 その他：事業実施に伴う執行残 521

(単位：千円)

決算書 (P266～P269)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
115,356	110,394				7,022 (財産収入、諸収入)	103,372
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
—	4,962			1	4,961	

## 【目的】

観光情報の提供、観光資源のPR、関係団体の取組への支援などを通じ、観光の振興と多様な交流機会の創出を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

観光案内運営事業 18,717

○令和6年度目標

観光案内所窓口案内人数

高田駅前観光案内所	5,000人
直江津駅前観光案内所	9,000人
上越妙高駅観光案内所	7,000人
合計	21,000人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 観光案内所運營業務委託料 (17,837)

・開設実績

案内所名	開設時間	休日
高田駅前観光案内所	午前10時～午後4時 ※観桜会会期中は午前10時～午後7時	12月31日・令和7年 1月1日
直江津駅前観光案内所	(4月1日～10月31日) 午前9時30分～午後5時30分 (11月1日～令和7年3月31日) 午前10時～午後5時	12月31日・令和7年 1月1日
上越妙高駅観光案内所	午前9時～午後6時	なし

決算書 (P266～P269)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

・観光案内所窓口案内人数実績

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
高田駅前観光案内所	4,009人	4,414人	4,355人
直江津駅前観光案内所	6,573人	7,449人	7,496人
上越妙高駅観光案内所	5,799人	6,556人	7,639人
合計	16,381人	18,419人	19,490人

(2) 上越妙高駅デジタルサイネージ広告掲載料 (880)

上越妙高駅自由通路に設置されているデジタルサイネージを活用し、駅利用者に対し、時季に合わせたおすすめ観光スポットや観桜会、謙信公祭などのイベントを発信した。

○目標達成状況

観光案内所全体では、目標を達成することができなかったが、上越妙高駅観光案内所では、窓口案内人数が令和5年度より増加し目標を上回った。

観光物産宣伝推進事業 19,800

○令和6年度目標

入込数：470,300人

○実施内容、これまでの経過等

・観光物産展開催実績

物産展名称	開催場所	開催時期	主催者	令和6年度入込数	
				目標	実績
産業フェアしずおか	静岡市	11月23日(土)～24日(日)(2日間)	静岡市	32,000人	47,100人
観桜会物産展(第99回)	高田城址公園	令和6年3月29日(金)～4月14日(日)(17日間)	上越市	420,000人	418,000人
観桜会物産展(第100回)	高田城址公園	令和7年3月28日(金)～4月13日(日)(17日間)	上越市	※参考 600,000人	※参考 525,000人
謙信公祭物産展	上越文化会館	8月24日(土)～25日(日)(2日間)	上越市	8,300人	10,236人
姉妹都市と上越市の観光と物産展	直江津屋台会館	10月5日(土)～10月6日(日)(2日間)	上越市	10,000人	8,061人
合計				470,300人	483,397人

・入込数の推移

令和4年度	令和5年度	令和6年度
419,471人	487,981人	483,397人

決算書 (P266～P269)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

○目標達成状況

謙信公祭物産展では、上杉謙信公役にゲストを招へいたことにより入込数が増加したことから、目標を達成することができた。

上越観光コンベンション協会補助金 39,606

○令和6年度目標

スポーツ大会や学術会議、コンクールなどのコンベンション開催件数：20件  
(3年度…6件、4年度…15件、5年度…20件)

○実施内容、これまでの経過等

(1) 上越観光コンベンション協会の体制及び活動の充実

職員人件費、旅行会社への観光営業活動、メディアを活用した広告宣伝活動、観光ボランティアガイドの養成に係る経費の一部を支援し、上越観光コンベンション協会の体制及び活動の充実を図った。

(2) コンベンション開催誘致事業

交流人口の拡大と地域経済の活性化を促進するため、スポーツ大会や学術会議などの開催費の一部や、スポーツ合宿に係る宿泊費の一部を補助する取組を支援した。

(3) 旅行商品造成促進事業

旅行商品造成を促進し、市内経済の活性化を図るため、旅行会社が企画する市内宿泊又は立ち寄りを伴う募集型旅行に対し、経費の一部を補助する取組を支援した。

・スポーツ大会などのコンベンション開催件数及び募集型旅行商品実施件数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
スポーツ大会などの コンベンション開催件数	11件 (参加者：3,888人)	10件 (参加者：4,282人)	7件 (参加者：4,076人)
スポーツ合宿件数	4件	10件	10件
募集型旅行実施件数 (バス台数)	113台	135台	107台

○目標達成状況

大雪の影響で開催が中止になったスポーツ合宿があったほか、申請はあったものの、宿泊人数の条件を満たさず対象外となったコンベンション等があり、目標を達成できなかった。

観光振興に係る諸経費 8,370

○実施内容、これまでの経過等

- ・会計年度任用職員報酬等 (6,799)
- ・庁用自動車維持・運行経費 (437)
- ・その他旅費、消耗品費、土産代など (1,134)

決算書 (P266～P269)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

各区の観光振興対策事業 9,769

安塚区 717

○令和6年度目標

観光協会事業入込数：7,000人

○実施内容、これまでの経過等

安塚観光協会補助金（717）

- ・安塚区内への来訪者の増加と経済効果の拡大を図るため、安塚観光協会の活動を支援した。
- ・灯の回廊（安塚キャンドルロード）や山のうえ雪まつりへの協力を行ったほか、令和5年度から2年計画で安塚観光協会のホームページを制作し、観光施設や季節のイベントなどの情報発信を支援した。

<入込数>

	令和6年度		
	実施日	目標	実績
山のうえ真夏の雪まつりへの協力 (冷や汁サービスを実施)	8月24日(土)	1,500人	1,500人
信越トレイルの利用促進 (やすづか彩とりどり秋祭り企画としてハイキングイベントを実施)	10月6日(日)	30人	17人
東京都内物産イベントへの参加(江東区民まつりでの物販・観光PR)	10月19日(土)～20日(日)	—	—
観光客誘客事業 ・スキー場集客イベント(豚汁サービス) ・ホームページの制作(令和5・6年度) ・チラシ配布	集客イベント 12月29日(日)	470人	300人
灯の回廊・安塚キャンドルロード(雪茶屋の支援)及び山のうえ雪まつりへの協力	令和7年2月22日(土)	5,000人	2,750人
その他 (越後田舎体験事業・区内観光看板整備等)	—	—	536人
合計		7,000人	5,103人

<入込数の推移>

令和4年度	令和5年度	令和6年度
7,541人	7,415人	5,103人

○目標達成状況

安塚区の特徴をいかした各種イベントへの参画や安塚区の観光PR・情報発信等により集客を図ったが、開催当日の荒天によって安塚キャンドルロードの入込みが減少し、目標を達成することができなかった。

決算書 (P266～P269)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

牧区 290

○令和6年度目標

観光施設入込数：29,500人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 牧ふるさと観光振興会補助金(286)

- ・牧区の観光資源や各種イベントを広域的にPR活動し、区外からの誘客や交流人口の増加を図るため、牧区ふるさと観光振興会の活動を支援した。
- ・農業体験の実施やSNSの活用等により、牧区観光のPR活動を支援した。

(2) その他消耗品等事務経費(4)

<入込数>

	令和6年度	
	目標	実績
牧湯の里深山荘	20,000人	19,100人
牧ふるさと村自然と憩いの森	8,000人	7,092人
牧ふれあい体験交流施設	1,500人	1,698人
合計	29,500人	27,890人

<入込数の推移>

令和4年度	令和5年度	令和6年度
20,541人	28,799人	27,890人

○目標達成状況

冬期間の入込数が伸びず、目標を達成することができなかった。

柿崎区 3,233

○令和6年度目標

- ・海水浴場入込数：10,000人
- ・観光協会事業入込数：41,780人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 米山山頂避難小屋連絡協議会負担金(428)

避難小屋等の維持管理及び山頂の環境整備に要する費用の負担金

(米山山頂避難小屋連絡協議会：柏崎市、上越市(柿崎区)、柏崎山岳会、柿崎山岳会、柏崎観光協会、柿崎観光協会、柿崎区下牧町内会)

(2) 柿崎観光協会補助金(2,540)

柿崎区の観光振興を担う観光協会の活動を支援した。

(3) その他車両経費(265)

庁用車の燃料費、リース料、車検点検修繕費、北杜市交流事業等

決算書 (P266～P269)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

<入込数>

		令和6年度			
		実施日	目標		実績
柿崎中央海水浴場		7月13日(土)～ 8月18日(日)	10,000人		3,323人
柿崎観光協会事業	坂田池観桜会	4月1日(月)～ 4月15日(月) (15日間) 4月7日(日)イベント開催	1,500人	41,780人	1,800人
	米山山開き登山	5月26日(日)	100人		70人
	お引き上げ商工まつり	6月20日(木)～22日(土)(3日間)	32,000人		39,587人
	海開き安全祈願祭	7月6日(土)	30人		10人
	観光地引網	7月28日(日)	100人		中止
	柿崎区納涼花火大会	8月11日(日・祝)	8,000人		7,500人
	城山(猿毛城跡)登山	10月27日(日)	50人		32人
合計			51,780人	52,322人	

<入込数の推移>

令和4年度	令和5年度	令和6年度
33,557人	42,771人	52,322人

○目標達成状況

・柿崎中央海水浴場

例年よりも梅雨明けが遅く、天候不順の日が続いたことに加え、遊泳禁止や遊泳注意の日数が多かったことで、海水浴客の入込みが伸び悩み、目標を到達することができなかった。

・柿崎観光協会事業

坂田池観桜会では、引き続き地元商店会が中心となってイベントを開催することができた。また、お引き上げ商工まつりは、露店が令和5年度より18店舗増えたほか、入込数も1万人増となり、目標を達成することができた。

決算書 (P266～P269)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

大潟区 2,988

○令和6年度目標

- ・鵜の浜温泉の宿泊者数：26,550人
- ・鵜の浜海水浴場・人魚館等を含めた日帰り客数：137,200人

○実施内容、これまでの経過等

- (1) 大潟観光協会補助金 (2,478)  
大潟区の観光振興の中心的な役割を担う観光協会の活動を支援した。
- (2) 鵜の浜温泉まつり実行委員会補助金 (510)  
鵜の浜温泉まつりの開催に係る経費を補助した。

<入込数>

		令和6年度			
		目標		実績	
鵜の浜温泉の宿泊者数		26,550人		21,686人	
日帰り客数	鵜の浜温泉の日帰り客数	2,900人	137,200人	2,146人	99,449人
	鵜の浜海水浴場	25,000人		16,953人	
	鵜の浜人魚館	109,300人		80,350人	
合計		163,750人		121,135人	

<入込数の推移>

令和4年度	令和5年度	令和6年度
146,993人	139,889人	121,135人

○目標達成状況

- ・鵜の浜温泉の宿泊者数  
令和6年能登半島地震や冬の海岸侵食の影響により、目標を達成することができなかった。
- ・鵜の浜海水浴場・人魚館等を含めた日帰り客数  
冬の海岸侵食のほか、夏の猛暑と海水浴期間後半の天候不順等が影響し、目標を達成することができなかった。

決算書 (P266～P269)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

頸城区 1,000

○令和6年度目標

観光協会事業入込数：8,390人

○実施内容、これまでの経過等

頸城区観光協会補助金

頸城区観光協会だよりの発行、イベント情報の発信、イベントの実施などの活動を支援した。

<入込数>

	令和6年度		
	実施日	目標	実績
頸城の旬を味わう会	6月16日(日)	-	24人
頸城の祭典事業	8月4日(日)	5,600人	5,800人
雁金城狼煙上げ支援事業	8月24日(土)	50人	60人
大池まつり開催事業	中止	2,500人	-
芋煮会	11月15日(金)	40人	30人
大池・小池整備事業	11月9日(土)	80人	38人
バスツアー	11月29日(金)	40人	12人
頸城の観光資源を学ぶ会	12月14日(土)	-	24人
月見の会	中止	40人	-
新酒を愉しむ会	令和7年2月20日(木)	40人	25人
観光情報発信等	通年	-	-
合計		8,390人	6,013人

<入込数の推移>

令和4年度	令和5年度	令和6年度
9,533人	10,341人	6,013人

○目標達成状況

大池まつりが荒天の予報を受け中止としたことから、目標を達成することができなかった。

決算書 (P266～P269)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

吉川区 840

○令和6年度目標

観光協会事業入込数：1,700人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 吉川観光協会補助金(424)

吉川区の観光振興を推進する観光協会の活動を支援した。

(2) 東京都荒川区(友好都市)における物産販売等(416)

東京都荒川区で開催の「第38回川の手荒川まつり」のふるさと物産展の参加に対し支援した。

<入込数>

	令和6年度		
	実施日	目標	実績
尾神しだれ桜まつり	4月8日(月)～15日(月) (ライトアップ)(8日間) 4月13日(土) イベント開催	200人	450人
吉川テラス(出店)	7月20日(土)	250人	500人
よしかわやったれ祭り(出店)	8月3日(土)	250人	500人
尾神岳「山の上フェスティバル」	8月11日(日・祝)	350人	450人
吉川観光協会長杯争奪パラグライダー大会	10月5日(土)～6日(日) (2日間)	200人	200人
尾神そば早食い選手権	10月20日(日)	-	100人
尾神岳「山頂トレッキング」	11月17日(日)	-	100人
道の駅まつり(新そば食べ比べ)	11月24日(日)	300人	400人
新酒と料理を楽しむ会(郷土料理を食する会)	令和7年3月8日(土)	150人	153人
天岩戸尾神岳伝説研修会	令和7年3月16日(日)	-	100人
合計		1,700人	2,953人

<入込数の推移>

令和4年度	令和5年度	令和6年度
1,576人	2,417人	2,953人

○目標達成状況

- ・実施した全てのイベントにおいて目標を達成することができた。
- ・毎年恒例となっているイベントでは、リピーターも多くみられ賑わった。

決算書 (P266～P269)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

中郷区 396

○令和6年度目標

観光協会事業入込数：3,000人

○実施内容、これまでの経過等

中郷観光協会補助金

中郷の歴史と文化の継承につなげるため、小・中学生を対象とした縄文体験や文化体験など、中郷観光協会の活動を支援した。

<入込数>

	令和6年度		
	実施日	目標	実績
松ヶ峯周辺のライトアップ	4月6日(土)～28日(日) (23日間)	1,200人	1,100人
さくらを楽しむ会	4月14日(日)		
縄文公園体験イベント	8月3日(土)、8月14日(水) (2日間)	250人	250人
二本木駅スイッチバック活性化事業	6月22日(土)	800人	400人
映画「瞽女(GOZE)」鑑賞会	10月13日(日)	250人	200人
中郷スノーフェスタ	令和7年2月16日(日)	500人	500人
合計		3,000人	2,450人

<入込数の推移>

令和4年度	令和5年度	令和6年度
1,650人	2,000人	2,450人

○目標達成状況

令和5年度より入込数は増えたものの、イベント時の天候や気温の影響により目標を達成することができなかった。

決算書 (P266～P269)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

板倉区 125

○令和6年度目標

ゑしんの里記念館利用者数：9,000人

○実施内容、これまでの経過等

板倉まちづくり振興会観光振興事業補助金

特定非営利活動法人板倉まちづくり振興会による、ゑしんの里記念館での展示事業及び地元産蕎麦の消費拡大事業等のPR活動を支援した。

<入込数>

	令和6年度		
	実施日	目標	実績
いたくら特産品販売 (やわやわマーケット板倉と同時開催)	毎月第4土曜日 (12月～2月は休止)	2,300人	4,472人
フォト倶楽部「写遊四季」写真展	8月2日(金)～8月4日(日) (3日間)	100人	170人
Bookアート展	11月1日(金)～11月24日 (日) (24日間)	800人	654人
クリスマスふれあいコンサート	12月21日(土)	50人	53人
お雛様展示	令和7年1月25日(土)～3月 22日(土) (57日間)	1,500人	1,089人
春のお笑い落語会	令和7年3月22日(土)	50人	43人
一般入館者		4,200人	4,004人
合計		9,000人	10,485人

<入込数の推移>

令和4年度	令和5年度	令和6年度
8,063人	9,175人	10,485人

○目標達成状況

いたくら特産品販売会と同時開催した、やわやわマーケット板倉やBookアート展、お雛様展示等、年間を通して様々なイベントを実施し、目標を達成することができた。

決算書 (P266～P269)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

名立区 180

○令和6年度目標

交流人口の拡大を目指す区内観光団体の活動を支援することにより、観光振興の推進を図る。

○実施内容、これまでの経過等

名立区イベント交流事業補助金

友好交流を続けている長野県東御市で開催された「火のアートフェスティバル」における名立区特産品の販売や名立区のPR等を支援した。

○目標達成状況

実施主体である「東御市との交流実行委員会」に対し支援することで、「火のアートフェスティバル」に参加し、名立区特産品の販売や名立区のPRを行うことで、両市の交流が図られ、目標を達成することができた。

地域独自の予算事業 14,132

- ・「雪まつり（キャンドルイベント）」開催による地域交流・地域活性化事業（高土区）（2,356）
- ・山のうへの雪まつり事業（安塚区）（855）
- ・山のうえ真夏の雪まつり事業（安塚区）（905）
- ・うらがわら雪あかりフェスタ事業（浦川原区）（242）
- ・地域の宝を活かした「薬師 Re:Project」地域活性化事業（大島区）（590）
- ・地域の活性化促進事業（まき深山のともしび）（牧区）（783）
- ・縁日&お酒まつり事業（大潟区）（1,155）
- ・鶴の浜温泉色彩音楽花火事業（大潟区）（2,788）
- ・大池の四季を感じる散策ツアー事業（頸城区）（173）
- ・吉川観光重点2地区（尾神岳エリア、よしかわ道の駅エリア）活性化推進事業（吉川区）（2,590）
- ・灯火のイベント事業（三和区）（260）
- ・雪を活かしたまちづくり推進事業（名立区）（202）
- ・名立ウォーキングツーリズム事業（名立区）（150）
- ・名立オータムフェスタ事業（名立区）（1,083）

【事業の成果】

- ・上越観光コンベンション協会が実施する各種コンベンションや募集型企画旅行の補助に対し支援を行ったことで、市内での宿泊、飲食、交通など、市内経済の活性化につながったほか、地域の認知度向上や交流人口の拡大に寄与することができた。
- ・各区観光協会が開催するイベントや特産物の販売促進、観光PRなどに対し支援を行ったことで、各区における観光振興に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

コンベンションの開催規模や形態、旅行会社が造成する募集型旅行商品は、社会情勢や公共交通の料金改定等の影響を受けやすく、ニーズが変わりやすいことから、実施主体である上越観光コンベンション協会と連携し、効果的な補助内容を検証しながら、必要な支援を行っていく。

決算書 (P266～P269)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光振興対策事業		

**【執行残額について】**

入札差金：観光案内所運營業務委託料に係る入札差金 1

その他：魅力創造総務管理費に係る事務経費について当初見込みを下回ったことに伴う執行残 230

観光物産宣伝推進事業、観光振興総務費及び各区観光振興対策事業に係る事務経費について当初見込みを下回ったことに伴う執行残 1,607

上越観光コンベンション協会補助金に係る協会の旅費や広告費等について当初見込みを下回ったことに伴う執行残 2,055

地域独自の予算事業補助金の執行残 1,069

(単位：千円)

決算書 (P268～P269)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	イベント推進費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
158,068	157,072				33,292 (財産収入、寄附金、繰入金)	123,780
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	996				996	

## 【目的】

高田城址公園観桜会など、当市を代表する各イベントを実行組織と連携して開催し、市民の地域への誇りと愛着、一体感を醸成するとともに、多様な交流機会の創出と観光の活性化を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

観桜会事業 87,647

○令和6年度目標

入込数：600,000人

○実施内容、これまでの経過等

・観桜会事業補助金(87,615)

開催日 令和6年3月29日(金)から4月14日(日)までの17日間

会場 高田城址公園

事業主体 上越市、公益社団法人上越観光コンベンション協会、上越商工会議所

事業内容 オープニング花火打上げ、ぼんぼりの点灯、高田城三重櫓及びさくらロードのライトアップ、さくらステージ、臨時駐車場の開設、お花見シャトルバスの運行、露店及び物産展の開設など

・入込数の推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入込数	395,000人	410,000人	418,000人

○目標達成状況

令和5年度の入込数は上回ったものの、会期前半の天候や気温の影響により、目標を達成することができなかった。

決算書 (P268～P269)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	イベント推進費		

上越まつり事業 55,058

○令和6年度目標

	入込数
高田地区	80,000人
直江津地区	182,000人
春日地区	64,000人

○実施内容、これまでの経過等

- ・上越まつり委員会交付金 (54,519)

事業主体 上越まつり委員会 (公益社団法人上越観光コンベンション協会、高田祇園まつり奉賛会、直江津祇園祭協賛会、謙信公祭協賛会)

<高田、直江津地区>

開催日 7月23日(火)から7月29日(月)まで

開催内容 花火打上げ(高田地区)、みこし渡御、みこしの川下り、大花火大会(直江津地区)、町内屋台巡行、御饂米奉納、大民踊流し、露店の開設など

<春日地区(謙信公祭)>

開催日 8月23日(金)前夜祭、8月24日(土)、8月25日(日)本祭

事業内容 前夜祭(ちょうちん行列、花火の打上げなど)、狼煙上げ、献納米合戦、各種ステージイベント、武禊式、出陣行列、川中島合戦の再現など

- ・入込数の推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
高田地区	1,000人	50,000人	51,000人
直江津地区	107,000人	181,000人	184,000人
春日地区	30,700人	14,700人	48,200人

○目標達成状況

令和5年度に比べ各地区で入込数は増えたものの、記録的な猛暑により、一部催物が中止となったことなどから目標を達成することができなかった。

観蓮会事業 2,928

○令和6年度目標

入込数：90,000人

○実施内容、これまでの経過等

- ・高田城址公園観蓮会実行委員会交付金

開催日 7月13日(土)から8月25日(日)までの44日間

会場 高田城址公園、高田本町商店街ほか

事業主体 高田城址公園観蓮会実行委員会

事業内容 宙バス乗車体験、観蓮オーレンピアノ、フォトスポット設置、夏のガチ盛り「本町スイーツめぐり」、高田本町謎解き巡り、お水鉢の展示、浴衣プラン、クーポン付き街歩きマップの配布、蓮まつり縁日など

決算書 (P268～P269)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	イベント推進費		

・入込数等の推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入込数	44,000人	85,000人	113,000人
開催期間	7月16日(土)から 8月21日(日)まで	7月15日(土)から 8月20日(日)まで	7月13日(土)から 8月25日(日)まで
日数	37日間	37日間	44日間

○目標達成状況

開催期間の見直し(延長)、公園内及び本町商店街からの回遊を目的とした新規イベント開催により、目標を達成することができた。

レルヒ祭事業 5,379

○令和6年度目標

入込数：5,000人

○実施内容、これまでの経過等

・レルヒ祭実行委員会交付金

開催日 令和7年2月1日(土)、2日(日)

会場 金谷山スキー場、高田本町商店街ほか

事業主体 レルヒ祭実行委員会

事業内容

(1) 金谷山会場

・1日目…令和7年2月1日(土)

地域の学生やアーティストによるステージイベント、ミュージックスターメイン

・2日目…令和7年2月2日(日)

オープニングセレモニー、レルヒ検定○×クイズ、一本杖スキー披露

・両日

日本スキー発祥記念館入館無料、ステージイベント、レルヒ屋台村・ドリンクブース開設、無料シャトルバス運行、臨時駐車場開設など

(2) 本町商店街会場

・本町ガチ盛りまつり(令和7年2月1日(土)から28日(金)まで)

・入込数の推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入込数	4,400人	4,000人	3,400人

○目標達成状況

小雪による一部イベントの中止などの影響により、目標を達成することができなかった。

第100回謙信公祭記念事業 6,060

○令和6年度目標

令和7年度に第100回の節目を迎える謙信公祭の記念事業について準備を進める。

決算書 (P268～P269)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	イベント推進費		

○実施内容、これまでの経過等

- (1) 謙信公祭ゲスト招へい委託料 (3,200)  
謙信公役へのゲスト招へいに係る委託料
- (2) 謙信公祭記念事業負担金 (2,860)  
「出張！なんでも鑑定団 in 上越市」開催に係る負担金

○目標達成状況

第100回謙信公祭における記念事業開催に向け、計画どおり事務を進めることができた。

**【事業の成果】**

猛暑や小雪など気象条件が影響したこともあり、多くのイベントで目標を達成することができなかったが、多様な交流機会の創出と市内経済の活性化に寄与することができた。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

各イベントの実行組織や関係機関と効果的な情報発信や受入態勢の在り方等について検討を重ね、イベント内容と情報発信、データ収集・分析を行い、当市の更なる認知度向上と交流人口の拡大を促進していく。

**【執行残額について】**

その他：事業実施に伴う執行残 996

(単位：千円)

決算書 (P268～P269)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	直江津屋台会館管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
16,987	16,162			4,700	584 (使用料、財産収入、 譲収入)	10,878
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	825				825	

## 【目的】

直江津祇園祭の屋台を保管するとともに、貸館施設としての利用促進や観光情報の発信を行い、伝統文化の保存と地域の活性化を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和6年度目標

利用者数：25,000人

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・施設の概要

所在地 西本町4丁目18番12号  
 設置年度 平成6年度  
 構造 鉄骨造1階建て  
 施設内容 イベントホール、広場、保存・展示庫  
 面積 延床1,489.26㎡  
 管理 直営(業務委託)  
 利用形態 直江津祇園祭屋台の保管、貸館施設

## ・施設の経緯

平成6年度 開館  
 平成14年度 利用者の減少により休館  
 平成17・18年度 屋台会館前広場で、伝統芸能の披露を実施  
 平成19年度 有効活用方法検討のため、関係町内会連絡協議会を開催  
 平成20・21年度 「越後上越 天地人博」の開催  
 平成22年度 貸館とする準備のため閉館(6月末まで)  
 貸館及び屋台保管施設として開館(7月から)  
 平成25年度 会議室をJーホールディングス㈱へ事務所貸付(令和元年度末まで)  
 令和3年度 屋根の改修工事を実施  
 会議室をスポーツ協会へ事務所貸付(令和4年3月末まで)  
 令和5年度 会議室を上越観光コンベンション協会へ貸付、管理業務委託

決算書 (P268～P269)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	直江津屋台会館管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計 画	実 績
利用者数	5,244人	21,186人	25,000人	26,676人

・施設管理における市の収支状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			予算現額	実 績	
①収入	使用料収入	300	203	299	447
	その他	76	142	75	137
	合計	376	345	374	584
②支出	施設維持管理費	4,123	11,971	16,987	16,162
	うち委託料	1,429	2,765	3,005	3,002
	うち施設整備工事	-	4,950	8,254	8,253
	その他	-	-	-	-
合計	4,123	11,971	16,987	16,162	
③公費投入額 (②-①)	3,747	11,626	16,613	15,578	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	715	549	665	584	

○目標達成状況

計画に対して1,676人増となり目標を達成することができた。

【事業の成果】

上越観光コンベンション協会主催のイベント利用のほか、なおえつうみまちアートや防災イベントの主会場としての利用があり、地域の活性化に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・施設の老朽化が進む中、早期に修繕対応するなど、適切に管理していく。
- ・施設周辺の年間を通じた賑わい創出等に向けて、定期的なイベント開催などにより、利用促進に取り組んでいく。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 825

(単位：千円)

決算書 (P270～P271)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	金谷山公園管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
57,568	55,431				3,226 (使用料、諸収入)	52,205
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,137				2,137	

## 【目的】

恵まれた自然環境の中で健全な余暇活動の場を提供するため、金谷山スキー場や上越市バイシクルモトクロス場（BMX場）を含む金谷山公園を適切に管理し、誘客促進を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和6年度目標

- ・ボブスレー利用者数 : 11,000人
- ・スキーリフト利用者数 : 4,000人
- ・BMX場コース利用者数 : 1,200人

## ○実施内容、これまでの経過等

## 施設の概要

## &lt;金谷山スキー場&gt;

所在地 大字大貫 595 番地 2

設置年度 昭和 56 年度

施設内容 コース : 3 本、最長滑走距離 640m、そり遊びエリア

リフト : シングル 1 基

管理棟 : 鉄筋コンクリート造 2 階建て 58.00 m<sup>2</sup>監視所 : 木造 1 階建て 6.55 m<sup>2</sup>、木造 1 階建て 3.27 m<sup>2</sup>公衆トイレ : 鉄筋コンクリート造 1 階建て 21.38 m<sup>2</sup>、木造 1 階建て 28.23 m<sup>2</sup>

営業期間 令和 7 年 2 月 8 日 (土) から 3 月 12 日 (水) まで

管 理 直営 (業務委託)

利用形態 スポーツ・レクリエーション施設

決算書 (P270～P271)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	金谷山公園管理運営費		

<金谷山スーパーボブスレー>

所在地 大字大貫 595 番地 2

設置年度 昭和 56 年度

施設内容 コース：1 本、延長 450m

営業期間 4 月 20 日（土）から 10 月 27 日（日）までの土曜・日曜・祝日、夏休み期間

管 理 直営（業務委託）

利用形態 スポーツ・レクリエーション施設

<上越市バイシクルモトクロス場（BMX場）>

所在地 大字大貫 698 番地 1

設置年度 平成 10 年度

施設内容 コース：延長約 350m

休憩施設：鉄筋コンクリート造 2 階建て 26.39 m<sup>2</sup>

公衆トイレ：木造 1 階建て 34.78 m<sup>2</sup>

営業期間 4 月 20 日（土）から 10 月 27 日（日）までの土曜・日曜・祝日、お盆期間

管 理 直営（業務委託）

利用形態 スポーツ・レクリエーション施設

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
			目標	実績
ボブスレー利用者	10,615 人	8,794 人	11,000 人	10,204 人
スキーリフト利用者	1,984 人	1,242 人	4,000 人	2,634 人
BMXコース利用者	1,069 人	1,162 人	1,200 人	1,130 人
合計	13,668 人	11,198 人	16,200 人	13,968 人

・施設管理における市の収支状況

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
			予算現額	実 績	
①収入	使用料収入	2,981	2,570	3,172	3,190
	その他	1,221	24	16	35
	合計	4,202	2,594	3,188	3,225
②支出	施設維持管理費	87,125	47,633	57,568	55,431
	うち委託料	29,202	30,024	34,441	33,906
	その他	-	-	-	-
	合計	87,125	47,633	57,568	55,431
③公費投入額（②－①）	82,923	45,039	54,380	52,206	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額（単位：円）	6,067	4,022	3,357	3,738	

決算書 (P270～P271)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	金谷山公園管理運営費		

○目標達成状況

- ・ボブスレー利用者は、降雨等により休業日があったため、目標に対して796人減となり、目標をやや下回った。
- ・スキーリフト利用者は、降雪に恵まれ例年より営業日が多く（営業日数：33日）前年比1,392人増となったものの、目標に対しては1,366人減となり目標を下回った。
- ・BMX場コース利用者は、降雨等コースコンディション不良による休業日があったことや、猛暑の影響もあり、目標に対して70人減となり、目標をやや下回った。

【事業の成果】

雑木の伐採や草刈りなど施設の適切な管理を行い、良好な景観を維持し、安全で気軽に楽しめる市民の憩いの場を提供した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・施設の老朽化が進む金谷山公園について、地域住民や施設関係者とともに、今後の在り方について、検討する必要がある。
- ・BMX場の利用拡大に向けて、引き続き、新潟県BMX協会と連携し、初心者向けの講習会の実施や大会誘致などに取り組み、施設の利用促進を図る。

【執行残額について】

その他：事業実施に伴う執行残 2,137

(単位：千円)

決算書 (P270～P271)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	雪国文化村リゾート推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,360,669	802,767			736,200	628 (諸収入)	65,939
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
552,200	5,702			5,689	13	

## 【目的】

雪だるま高原の施設において安全安心の利用を確保するための適切な施設の維持・整備を行うことにより、スキーを始め年間を通じて野外スポーツ等を楽しめる観光拠点とする。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和6年度目標

- ・雪だるま高原施設を適切に維持管理し、受入環境の向上を図るとともに、重大事故の発生をゼロとする。
- ・令和4年度に策定した将来計画に基づき、新第2リフト建設事業を着実に推進する。

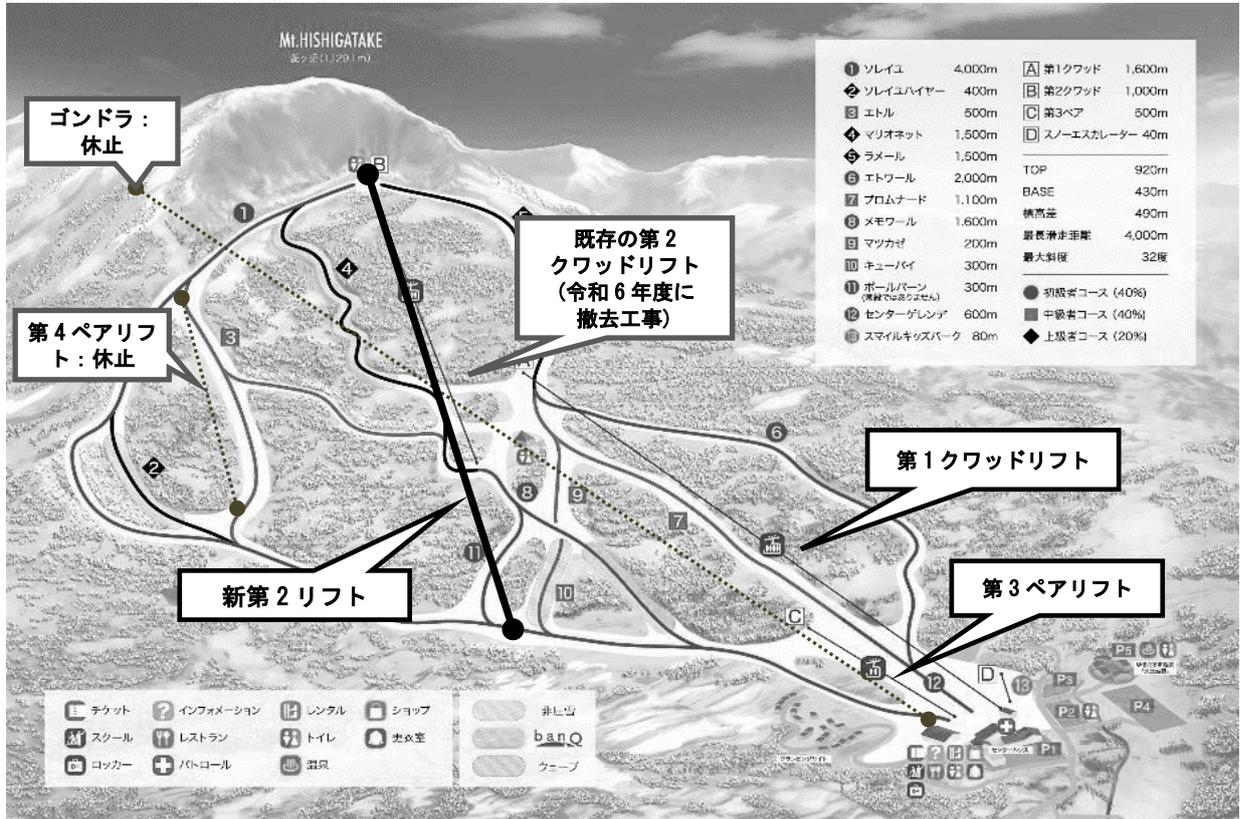
## ○実施内容、これまでの経過等

## ・施設の概要

所在地	安塚区須川地内
設置年度	平成2年度
施設内容	スキー場 ゲレンデ面積 48ha
	索道施設 ゴンドラ1基 ※令和2年度から休止
	リフト4基 ※平成28年度から第4ペアリフト休止、令和6年度第2クワッドリフト休止
宿泊施設	コテージ：20棟（管理棟含む）50室
	久比岐野：和室7室、洋室8室 ※令和2年度から休止
体験施設	ふれあい昆虫館 ※令和2年度から休止
	棚田動植物公園：面積2ha
温泉施設	久比岐野新館（日帰り温泉）
管理	指定管理
利用形態	スキー場ほか

決算書 (P270～P271)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	雪国文化村リゾート推進事業		

【スキー場コース図】



・令和6年度の実施状況

項目	金額	内容
普通旅費	41	製作現場出張検査旅費
消耗品費	18,909	【第1クワッドリフト】索輪部品(1,925)、握索機、搬器部品(7,370)、握索機さらばね(3,960)、押送関連装置部品(3,585)、支柱部品(1,430) 【第3ペアリフト】索輪部品(615) 等
修繕料	26,523	【車両関係】圧雪車基本整備(8,220)、圧雪車修繕(1,579)、乗用草刈機点検整備・修繕(1,549)、スノーモービル基本整備・修繕(909)、除雪機車両検査・修繕(155) 【ビレッジ】配管水漏れ等修繕(229)、エアコン更新修繕(191) 【センターハウス】浄化槽給排気ダクト取付架台修繕(330)、排煙窓修繕(2,233)、排煙口修繕(407) 【その他】第1クワッドリフト山麓駅舎屋根修繕(5,280)、第1駐車場舗装修繕(499)、ナイター照明修繕(1,265)、久比岐野浴室窓格子設置修繕(484)、ダンパ操作機及びポンプグランドパッキン交換修繕(661) 等

決算書 (P270～P271)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	雪国文化村リゾート推進事業		

項目	金額	内容
通信運搬費	389	Wi-Fi回線使用料
手数料	50	軽トラック購入手数料(43)、廃車手数料(7)
保険料	18	軽トラック自賠責保険料
使用料及び賃借料	2,445	除雪重機賃借料(1,676)、AED賃借料(140) 国有林野土地借上料(629)
工事請負費	735,048	【新第2リフト】建設事業(691,400) 【第1クワッドリフト】山麓到着走行レール等更新工事(41,250) 【キューピットビレッジ】Wi-Fi整備工事(2,398)
備品購入費	19,328	軽トラック(1,068)、大型除雪機(3,608)、新紙幣対応券売機(2,398)、新紙幣対応入金機(2,068)、源泉予備ポンプ・水位センサー(10,186)
補償、補填及び賠償金	9	国有林立木竹補償料
公課費	7	軽トラック重量税
合計	802,767	

#### ○目標達成状況

- ・経年劣化による施設・設備等の損傷、故障を適切に修繕し、利用客の安全の確保に努めたことで、重大事故の発生をゼロにすることができた。
- ・新第2リフト建設事業においては、山麓駅舎及び山頂駅舎並びにリフト支柱の基礎工事を実施したほか、各種部材製作等を計画通り実施することができた。

#### 【事業の成果】

- ・雪だるま高原施設を適切に維持管理したほか、施設の一部を改修するなど受入環境の向上を図った。
- ・施設や装置機器の定期的な点検と計画的な修繕を実施し、維持管理を適切に行ったことにより施設全体を安全に運営できた。
- ・新第2リフト建設事業においては、令和7年12月の供用開始に向け、駅舎及びリフト支柱の基礎工事等を計画的に実施することができた。

#### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・「安塚雪だるま高原施設整備活用基本計画」に基づき、事故防止及び長寿命化のための必要な修繕を適時適切に実施する。
- ・新第2リフト建設事業において、ヘリコプターからの生コン落下(飛散)事故が発生したことから、改めて工事全般における安全管理の徹底を図り、事業を遂行する。

#### 【執行残額について】

入札差金：修繕及び工事等の入札又は見積合わせに伴う差金 5,689

その他：事業実施に伴う執行残 13

(単位：千円)

決算書 (P270～P271)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	大島庄屋の家管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
26,725	23,447			2,700	11,671 (使用料、財産 収入、諸収入)	9,076
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3,278				3,278	

## 【目的】

豊かな自然と日本の原風景、そこに生きる人々の暮らしや文化をいかした「体験型観光」の受入れを推進することにより、都市部の住民と地域住民との交流を促進し、観光交流による地域経済の活性化を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和6年度目標

利用者数：3,505人（うち宿泊1,320人、日帰り2,185人）

## ○実施内容、これまでの経過等

## 施設の概要

所在地 大島区田麦1096番地2

設置 宿泊棟：平成3年度 体験棟：平成5年度

構造 宿泊棟：鉄筋コンクリート造2階建て 体験棟：木造一部2階建て

施設内容 宿泊棟：客室7室、食堂、浴室2室 体験棟：広間、調理体験室、座敷

面積 延床967.07㎡（宿泊棟711.56㎡、体験棟255.51㎡）

管理 直営（業務委託）

利用形態 日帰り及び宿泊施設

## ○施設の管理実績

## ・利用者数

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			目標	実績
利用者数	1,939人	2,628人	3,505人	2,364人
うち宿泊	629人	953人	1,320人	962人
うち日帰り	1,310人	1,675人	2,185人	1,402人

決算書 (P270～P271)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	大島庄屋の家管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	2,148	3,103	4,125	3,101
	その他	5,348	8,531	12,361	8,569
	合計	7,496	11,634	16,486	11,670
②支出	施設維持管理費	21,297	25,453	26,725	23,447
	うち委託料	11,167	11,654	12,106	11,977
	その他	-	-	-	-
	合計	21,297	25,453	26,725	23,447
③公費投入額 (②-①)		13,801	13,819	10,239	11,777
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		7,118	5,258	2,921	4,982

○目標達成状況

主な利用者である越後田舎体験や、首都圏の中学校・高校の合宿での利用が減少し、宿泊・日帰りともに目標を達成できなかった。

【事業の成果】

目標達成とはならなかったものの、一般の宿泊利用が増加傾向にあるほか、首都圏の中学校・高校の合宿や大島区とゆかりのある地域との交流事業などにより、都市住民と地域住民との交流の促進及び地域の活性化を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・首都圏の学校等との交流再開を更に働きかけるとともに、季節の独自イベントを継続して開催するほか、宴会の日帰りプランをPRすることで利用促進を図る。
- ・施設・設備は建設から30年以上が経過し老朽化が進んでいることから、利用者の安全や利便性に配慮しながら計画的な修繕を行い、適切な維持管理に努める。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 3,278

(単位：千円)

決算書 (P270～P273)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	牧ふるさと村自然と憩の森管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,871	3,789			1,200	520 (諸収入)	2,069
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	82				82	

## 【目的】

豊かな自然と田舎の生活文化に触れる憩いの場を提供することにより、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和6年度目標

利用者数：8,000人

○実施内容、これまでの経過等

## ・施設の概要

所在地 牧区池舟2番地

設置年度 昭和53年度

構造 ふるさとの家：木造2階建て

延床面積：214.5㎡

施設内容：厨房、食堂、客間

ふるさとアピール館：木造2階建て（鉄筋コンクリート造地下1階）

施設内容：厨房、食堂、展示インフォメーションなど

延床面積：417.31㎡

管理 直営（業務委託）

利用形態 体験研修施設

## ・施設の経緯

ふるさとの家 平成15年度から地元団体が施設利用許可を受け、蕎麦屋「木草庵」の営業開始

ふるさとアピール館 平成27年度休止

平成30年度から地元団体に施設利用許可

令和6年12月末で地元団体の活動休止に伴い利用なし

決算書 (P270～P273)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	牧ふるさと村自然と憩の森管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計 画	実 績
利用者数	8,022人	7,300人	8,000人	7,092人
うち木草庵	7,846人	7,185人	7,800人	7,024人

・施設管理における市の収支状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			予算現額	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-
	その他	503	447	436
	合計	503	447	436
②支出	施設維持管理費	2,901	3,695	3,871
	うち委託料	1,793	1,875	2,127
	その他	-	-	-
	合計	2,901	3,695	3,871
③公費投入額 (②-①)	2,398	3,248	3,435	3,269
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	299	445	429	461

○目標達成状況

災害救助法が適用される豪雪などの影響もあり、目標を達成することができなかった。

○地域独自の予算事業 194

沖見地区観光拠点づくり事業 (牧区)

【事業の成果】

「ふるさとの家」では、地元団体が蕎麦屋「木草庵」を運営し、年間7,000人を超える利用者数を維持している。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

地域の高齢化や人口減少の中で、施設が老朽化しており、引き続き、施設の在り方について、地元団体や関係機関と協議を進めていく。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 82

(単位：千円)

決算書 (P272～P273)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	牧ふれあい体験交流施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,001	2,835			1,100	37 (使用料、諸収入)	1,698
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	166				166	

## 【目的】

地域の特性及び資源を活用した体験型観光施設として、都市部の住民との交流促進を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和6年度目標

利用者数：2,200人

## ○実施内容、これまでの経過等

## 施設の概要

所在地 牧区原991番地

設置年度 平成11年度

構造 2階建て(1階RC構造、2階木造)

施設内容 研修室1室、ミーティングルーム1室、体験調理室・実習室1室、ホール1室、ふれあい広場

面積 延床568.34㎡

管理 直営(業務委託)

利用形態 研修集会施設

## ○施設の管理実績

## ・利用者数

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計画	実績
利用者数	1,408人	2,102人	2,200人	1,698人

決算書 (P272～P273)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	牧ふれあい体験交流施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	5	6	-	3
	その他	54	32	56	34
	合計	59	38	56	37
②支出	施設維持管理費	2,709	2,576	3,001	2,835
	うち委託料	1,453	1,503	1,850	1,816
	その他	-	-	-	-
	合計	2,709	2,576	3,001	2,835
③公費投入額 (②-①)		2,650	2,538	2,945	2,798
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		1,882	1,207	1,339	1,648

○目標達成状況

災害救助法が適用される豪雪などの影響もあり、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

地元NPO法人に施設管理を委託することで、適切な施設管理を行うとともに、当該NPO法人による発酵食品やおやき作りなどの郷土料理体験が実施され、参加者との交流を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

地域の高齢化や人口減少の中で、施設が老朽化しており、施設の在り方について、引き続き、地元団体や関係機関と協議を進めていく。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 166

(単位：千円)

決算書 (P272～P273)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	道の駅よしかわ杜氏の郷管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
10,094	9,895				169 (使用料、財産収入、 譲収入)	9,726
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	199				199	

## 【目的】

道の駅に訪れる観光客等の休憩場所の確保と利用しやすい環境整備を行うとともに、地域の特産品や観光情報を発信することにより、交流人口の増加と地域の活性化を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和6年度目標

利用者数：80,000人

## ○実施内容、これまでの経過等

## 施設の概要

所在地 吉川区杜氏の郷1番地(敷地面積：18,691.92㎡)

設置 平成15年度

施設内容 情報発信施設：木造1階建て 218.14㎡

公衆トイレ：木造1階建て 69.71㎡

駐車場 265台

管理 直営(業務委託)

利用形態 道の駅(休憩施設等)

## ○施設の管理実績

## ・利用者数

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計画	実績
利用者数	77,516人	71,656人	80,000人	70,784人

決算書 (P272～P273)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	道の駅よしかわ杜氏の郷管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	2	0	0	10
	その他	1,991	261	363	159
	合計	1,993	261	363	169
②支出	施設維持管理費	12,489	9,962	10,094	9,895
	うち委託料	4,764	4,427	4,780	4,786
	その他	-	-	-	-
	合計	12,489	9,962	10,094	9,895
③公費投入額 (②-①)		10,496	9,701	9,731	9,726
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		135	135	122	137

○目標達成状況

広場を活用したイベントが行われるなどしたものの、目標を達成できなかった。

【事業の成果】

地域の観光ポスターやパンフレット等を配置したほか、新たに情報コーナーにモニターを設置し、動画で地域の情報を発信した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・「道の駅よしかわ杜氏の郷」ホームページや施設内の情報コーナーを利用し、積極的な情報発信やPRに努めていく。
- ・地域や関係団体等で構成する「道の駅よしかわ杜氏の郷活性化検討会」において、引き続き、当該施設の将来計画を検討していく必要がある。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 199

※道の駅よしかわ杜氏の郷には「吉川ゆったりの郷」も含まれるが、同施設については、観光施設等管理事業に記載していることから、本事業に記載した数値等には含んでいない。

(単位：千円)

決算書 (P272～P273)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	坊ヶ池周辺施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,092	3,625				1,306 (諸収入)	2,319
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	467				467	

## 【目的】

坊ヶ池湖畔公園を安全に利用できるように維持管理するとともに、地元団体が、休止施設を交流事業などで適切に使用できる状態を確保する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

## ・施設の概要

所在地 清里区青柳 3438 番地

設置年度 山荘京ヶ岳 本館 平成2年度

山荘京ヶ岳 新館 平成6年度

フォークハウス湖畔 平成元年度

施設内容 山荘京ヶ岳 本館 木造2階建て

山荘京ヶ岳 新館 木造2階建て(地下：鉄筋コンクリート造)

フォークハウス湖畔 鉄筋コンクリート造3階建て

坊ヶ池湖畔公園 炊事場・トイレ

面積 延床 1,903.39 m<sup>2</sup> (本館 499.44 m<sup>2</sup>、新館 1,036.05 m<sup>2</sup>、湖畔 367.9 m<sup>2</sup>)

管理 直営

開設期間 坊ヶ池湖畔公園 4月5日(金)から11月29日(金)

利用形態 公園施設

## ・施設の経緯

平成29年度から「山荘京ヶ岳」、「フォークハウス湖畔」の営業を休止している。その後、地元団体から、イベントや地域交流など地域活性化を目的とした事業を行うため施設使用希望があり、山荘京ヶ岳新館の一部(大広間・厨房)の使用を許可している。

決算書 (P272～P273)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	坊ヶ池周辺施設管理運営費		

○施設の管理実績

施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	1,497	1,373	1,587	1,306
	合計	1,497	1,373	1,587	1,306
②支出	施設維持管理費	4,083	6,852	4,092	3,625
	うち委託料	1,799	1,683	1,881	1,703
	その他	-	-	-	-
	合計	4,083	6,852	4,092	3,625
③公費投入額 (②-①)		2,586	5,479	2,505	2,319
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		-	-	-	-

【事業の成果】

施設内設備等の維持管理を適切に実施したほか、カフェの運営や蕎麦まつりなどのイベントが実施されるなど、地域交流を図った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

地元団体による施設の利活用を引き続き支援しつつ、今後の利用動向等も踏まえながら、施設の在り方について検討していく。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 467

(単位：千円)

決算書 (P272～P275)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	シーサイドパーク名立管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
13,339	12,846				1,956 (使用料、諸収入)	10,890
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	493				493	

## 【目的】

名立区の自然をいかした余暇活動や心身の健康の保持及び増進の場として、当施設を適切に維持管理し、周辺施設を含めた利用客の増加を促す。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和6年度目標

利用者数：7,000人

## ○実施内容、これまでの経過等

## 施設の概要

所在地 名立区名立小泊798番地1

設置年度 平成5年度

施設内容 ビッグボブスレー：全長470m

ローラースライダー：全長190m ※令和5年度から休止中

アスレチック：木製15基 ※令和5年度から一部休止中

芝生広場：1,200㎡

展望台：木造 地下1階・地上2階建て 延床299.42㎡

バーベキューハウス：木造1階建て 78.67㎡

休憩棟：木造1階建て 57.97㎡

管理棟：木造1階建て 132.2㎡ 等

面積 約35ha

営業期間 4月20日(土)から10月27日(日)までの土曜・日曜・祝日  
(夏休み期間中は、金曜のほか、お盆期間も営業)

管理 直営

利用形態 公園施設

決算書 (P272～P275)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	シーサイドパーク名立管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計 画	実 績
利用者数	16,121人	10,624人	7,000人	4,680人

・施設管理における市の収支状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			予算現額	実 績	
①収入	使用料収入	4,616	3,262	3,033	1,942
	その他	1,115	503	21	13
	合計	5,731	3,765	3,054	1,955
②支出	施設維持管理費	19,583	16,664	13,339	12,846
	うち委託料	845	1,408	945	920
	その他	-	-	-	-
	合計	19,583	16,664	13,339	12,846
③公費投入額 (②-①)		13,852	12,899	10,285	10,891
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		859	1,214	1,469	2,327

○目標達成状況

猛暑など天候による影響のほか、ローラースライダーや木製アスレチック遊具の一部の使用不能により、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

ビッグボブスレーのコース修繕や遊具の点検など適切に維持管理を行った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

風害や塩害、老朽化によるローラースライダーや木製アスレチック遊具の破損により、利用を制限している。利用状況や維持管理経費等を踏まえ、今後の施設の在り方を検討していく。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 493

(単位：千円)

決算書 (P274～P275)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光企画費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
72,024	62,221	2,234	731		1,733 (繰入金)	57,523
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	9,803	903	1,257	105	7,538	

**【目的】**

上越市観光交流ビジョンに掲げた将来のありたい姿を目指し、関係自治体や様々な団体との連携や担い手の育成などにより観光地域づくりを推進する。

## 令和6年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

佐渡広域観光誘客事業 6,925

## ○令和6年度目標

「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録を見据え、佐渡市及び当市内の観光関係団体と連携して両市の観光情報を発信し、周遊観光を促進する。

## ○実施内容、これまでの経過等

## (1) 「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録に伴う祝意表明 (1,964)

上越妙高駅や直江津駅、市役所木田庁舎に世界遺産決定を祝う懸垂幕やフラッグを掲出したほか、高田城三重櫓の黄金色ライトアップ、バスラッピング広告等を実施した。

## (2) 上越市観光キャンペーン事業 (2,502)

小木直江津航路を利用し、市内宿泊施設を利用する人に、宿泊割引と参加店舗で利用できるクーポンを配布する観光キャンペーンを実施し、206人泊の利用があった。

## (3) 佐渡市・上越市観光・航路連携協議会 (2,414)

- ・県外からの誘客促進を図るため、信越放送主催の「大人の文化祭」にPRブースを出展し、両市の観光プロモーションを行ったほか、世界文化遺産登録を記念し、佐渡市と連携した共同パンフレット「るるぶ特別編集佐渡市・上越市」を発行した。
- ・小木直江津航路を利用し、両市に立ち寄る又は宿泊を伴う旅行商品を造成した旅行会社に対し、補助金を交付した。

## (4) その他 (45)

会議等出席旅費

## ○目標達成状況

「るるぶ特別編集佐渡市・上越市」の発行により、両市の観光情報を発信したほか、宿泊割引等を行う観光キャンペーンの実施により、当市への誘客を促進することができた。

決算書 (P274～P275)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光企画費		

観光営業事業 585

○令和6年度目標

姉妹都市や北陸新幹線沿線自治体において、当市の歴史・文化や観光資源を積極的に発信し、年間を通じた誘客促進を図る。

○実施内容、これまでの経過等

上越観光コンベンション協会と連携し、当市への観光誘客に向けた営業活動を行った。

(1) 姉妹都市や北陸新幹線沿線自治体等での観光PR活動等 (46)

長野県上田市や石川県金沢市などの姉妹都市や北陸新幹線沿線自治体等で開催されたイベントに参加し、観光PRを実施した。

(2) 上越妙高駅新幹線改札前PRスペースでの情報発信 (190)

改札前PRスペースを活用し、駅利用者に高田城址公園観桜会、高田城址公園観蓮会及び謙信公祭等のPRを行った。

(3) その他事業関係費 (349)

当市の観光スポットを紹介するテレビ番組に協賛し、当市の認知度向上を図った。

○目標達成状況

上越観光コンベンション協会や観光事業者と連携し、県内外で行われた観光PRイベントなどに参加し、パンフレット配布や甲冑体験などを通じて当市の歴史・文化を様々な地域で発信した。

各種団体等との連携事業 5,143

○令和6年度目標

コロナ禍からの回復や北陸新幹線の敦賀延伸による誘客の機を逸することなく、県内外の関係自治体や観光事業者と連携し、域内周遊を促進する。

○実施内容、これまでの経過等

各種協議会等に参画し、県内外の自治体や観光事業者と連携し、効果的な情報発信や広域周遊観光の促進に向けた取組を実施した。

(1) ほくほく線沿線地域振興連絡協議会 (1,225)

「ほくほくマガジン」を紙媒体からWEBへ移行し、ほくほく線に関連するツアーや沿線の飲食店情報を発信したほか、大阪での観光商談会に参加し、沿線地域の紹介やイベント列車のPRを行った。また、北越急行株式会社及びえちごトキめき鉄道株式会社が共同で実施したコラボスタンプラリーに参加した。

(2) 新潟県観光協会 (1,691)

「にいがた観光ナビ」により県内観光情報を発信したほか、関西圏からの誘客促進を図るため、交通事業者や関西圏のローカルメディア等を活用した広告等を実施した。

(3) 新潟県インバウンド推進協議会 (131)

訪日旅行の本格的な再開に伴い、新潟空港国際線の就航先旅行会社へのセールス活動や中国・台湾・香港向けの旅行商品の造成・販売促進などのプロモーションを実施した。

(4) にいがたスキー100年委員会 (166)

県内スキー情報サイト「新潟スノーファンクラブ」を通じて、県内外のスキーファンへ積雪量、雪質、ゲレンデ状況などタイムリーな情報提供を行ったほか、ご当地キャラのレルヒさんを活用し、各種イベントでのPRを実施した。

決算書 (P274～P275)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光企画費		

(5) 上信越ふるさと街道協議会 (10)

長野県・群馬県・新潟県にまたがる各街道沿線の関係団体が、各地域の魅力を学ぶ視察研修を実施したほか、北陸新幹線敦賀延伸に合わせた福井駅でのイベントにおいて、誘客に向けた情報発信を行った。

(6) 北陸新幹線停車駅都市観光推進会議 (400)

各都市の魅力を伝える動画を作成し、東京駅、金沢駅、敦賀駅、大阪駅のデジタルサイネージに掲出し、各市の誘客PRを行った。

(7) 日本さくらの会 (10)

国花である「桜」の植栽、育成、保全に取り組むとともに、海外に苗木、種子を贈り、さくらのPRを行った。

(8) 新潟県観光ファンづくり推進協議会 (766)

「にいがた観光ファンクラブ『N i i c l e』」の認知度向上や会員登録促進、協力施設の増加に向けた各種キャンペーンを実施したほか、会員登録者のデータ分析によるニーズにあった情報発信、特典の付与により、会員登録者の周遊を効果的に促した。

(9) 北アルプス日本海広域観光連携会議 (577)

台湾での「日本の観光・物産博」への出展及び台湾旅行会社への営業活動を行ったほか、えちごトキめき鉄道株式会社と連携し、サイクルトレインの運行を実施した。

(10) 関東広域観光機構 (100)

欧米豪市場に対し、関東広域エリアの観光コンテンツについて、SNSを通じて情報発信等を行った。

(11) 新潟県スキー観光産業振興協議会 (2)

各種メディアを通じて県内のスキー情報を広く発信したほか、スキー・スノボ用品販売イベント等に出展し旅行者誘致に取り組んだ。

(12) 会議等出席旅費等 (65)

○目標の達成状況

各種団体等に参画し、各々のニーズに合った情報を発信したほか、県内外の関係自治体や観光事業者と誘客促進に向けた取組を進めた。

観光宣伝物作成事業 9,618

○令和6年度目標

来訪者の目線で分かりやすく、当市の魅力が伝わるよう工夫を凝らした宣伝物を作成し、誘客促進を図る。

決算書 (P274～P275)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光企画費		

○実施内容、これまでの経過等

(1) 各種パンフレットの作成 (4,553)

名称	内容	作成数
観光総合パンフレット [増刷]	当市の観光情報を提供し、各地域への周遊を促す内容の総合パンフレット	35,000部
春日山城跡めぐり [増刷]	春日山城跡及び周辺を紹介し、城跡の散策を促す内容のパンフレット	40,000部
直江津みどころガイド [増刷]	直江津エリアの歴史や観光スポットを紹介し、回遊を促す内容のパンフレット	5,000部

(2) 上越市・上田市観光PR用ポスター作成・配送業務委託料 (111)

姉妹都市の上田市と連携してポスターを作成し、相互送客を促した。

(3) 観光PR用媒体管理委託料 (2,509)

上越観光N a v iの管理・運営及び観光パンフレットの発送業務を上越観光コンベンション協会に委託し、迅速かつ訴求力のある魅力的な観光PRを行った。

(4) L I N E管理委託料 (2,445)

L I N Eアプリを活用し、当市観光スポットへの来訪者に対してクーポン配信や観光情報の発信等のサービス提供を行い、来訪時における市内回遊を促進した。

○目標達成状況

来訪者の目線で分かりやすいパンフレットを作成・配布したことで、当市への誘客と市内回遊を促進することができた。

上越地域連携事業 3,363

○令和6年度目標

上越地域の観光資源を組み合わせることで地域全体の魅力を強化し、広域周遊観光を促すことで、更なる誘客促進を図る。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 上越地域広域観光情報誌作成委託料 (900)

広域観光情報誌「ニイガタしっぽ旅」を年2回発行し、県内外へ上越地域の豊かな自然や食、観光イベントなどの様々な魅力を発信した。

(2) 久比岐自転車道誘導用路面標示の設置 (1,463)

久比岐自転車道の利用促進を図るため、直江津駅から久比岐自転車道の区間において、双方向に矢羽根を設置し、安全にサイクリングを楽しむことができる環境を整備した。

(3) 「上越地域SEA TO SUMMIT」の開催 (1,000)

上越地域のアウトドアイメージの確立と誘客促進を図るため、株式会社モンベルの環境スポーツイベント「糸魚川・上越・妙高SEA TO SUMMIT」を県と3市で連携し開催した。

決算書 (P274～P275)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光企画費		

○目標達成状況

上越地域の様々な魅力を掲載した観光情報誌の発行や3市をつなぐスポーツイベントを実施したことで、上越地域として誘客を促進することができた。

灯の回廊事業 4,071

○令和6年度目標

入込数：17,350人

○実施内容、これまでの経過等

開催日 令和7年2月15日(土)、22日(土)

会場 牧区、三和区(15日)

安塚区、大島区、浦川原区、高士区、名立区(22日)

主催 うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会、まき深山のともしび実行委員会、三和の自然と地域を育む会、安塚キャンドルロード実行委員会、大島雪ほたるロード実行委員会、高士地区雪まつり実行委員会、輝く里不動の会、上越市

事業内容 市内7地区を会場に、上越市の冬のイベントとして雪灯りイベントを開催した。

開催エリアの拡大等の理由により、来場者が会場を全て訪れることができないことが懸念されるため、令和5年度より開催日を2週に分けて開催した。

・開催内容

実施地区7地区、キャンドル設置：21か所、茶屋開設：15か所

・経費の内訳

消耗品(ろうそく、紙コップ) (2,553)

ポスター・パンフレット作成 (506)

ポスター・パンフレット市外等郵送料 (226)

パンフレット市内全戸配布運搬料 (418)

バス運行業務委託料 (363)

道路使用許可申請手数料 (5)

・入込数の推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入込数	14,380人	16,800人	13,700人

○目標達成状況

15日開催の牧区と三和区では、天候に恵まれたことで、両地区で昨年度より入込数が増となったものの、22日は寒波到来による大雪の影響を受け、5地区全てで昨年度より入込数が減少し、両日を含めた全体では、目標を達成することができなかった。

決算書 (P274～P275)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光企画費		

謙信公ゆかりの地振興事業 849

○令和6年度目標

企画展入込数の目標：28,000人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 施設管理運營業務委託 (511)

上越市埋蔵文化財センターにおいて企画展「越後上越 謙信公と春日山城展」を開催した。

会期 4月1日から令和7年3月31日まで

入込数

令和4年度	令和5年度	令和6年度
26,223人	26,555人	23,362人

内容 上杉謙信公の生涯を紹介するパネルやゆかりの品の展示を始め、春日山城のジオラマ、ゲームやクイズも取り入れ、楽しみながら学ぶことができる展示を実施した。

周知方法 「上杉謙信公のふるさと・上越市」の知名度向上及び企画展への誘客促進を図るため、「上越観光Navi」等を活用し、市内外に広く周知するとともに、上越IC、上越高田ICから企画展会場への誘導看板を設置し、案内を行った。

(2) その他事業関係費 (338)

燃料費、消耗品費、修繕料等

○目標達成状況

企画展の入込数は、昨年度比で3,193人の減少となり、目標に対する達成率は約83%にとどまった。

「越後上越 上杉おもてなし武将隊」事業 24,677

○令和6年度目標

春日山城跡や埋蔵文化財センターでのおもてなしを通じ、来訪者の満足度向上を図るとともに、市外の観光イベント等への出演やSNSを活用した魅力発信により知名度の向上を図る。

○実施内容、これまでの経過等

観光客受入体制充実事業委託料 (24,677)

- ・春日山城跡や埋蔵文化財センター等において、観光案内や写真撮影などのおもてなしを行った。
- ・市内外のイベント出演による観光PRや、SNSへの投稿を通じて「謙信公のふるさと・上越市」を印象づけるとともに、観光情報を全国に発信し誘客促進を図った。

○目標達成状況

市内外で行われるイベントへの積極的な参加や観光案内を行ったほか、SNSやYouTubeを活用した情報発信を行ったことでフォロワーが増加しており、知名度向上が図られた。

決算書 (P274～P275)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光企画費		

信越トレイル利用促進事業 20

○令和6年度目標

信越トレイルの測定可能な箇所での利用者数:3,000人

○実施内容、これまでの経過等

- ・信越トレイルコースと市内観光施設への利用者増加につなげるため、上越観光Naviによる情報発信やパンフレットを配置するなどPRを行った。
- ・利用者数の推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	2,817人	2,577人	2,423人

○目標達成状況

上越観光Naviによる情報発信やパンフレットを配置するなどPRを行ったが、目標を達成することができなかった。

インバウンド推進事業 4,769

○令和6年度目標

コロナ禍からの回復に伴う外国人旅行者の誘客に向け、市内の観光事業者が造成した旅行商品の情報発信や紹介、販売を行い、市内観光事業者等が行う受入環境の整備を支援する。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 誘致イベントへの参加 (281)

新潟県ならではのコンテンツを世界に発信するPRイベント「クールジャパンEXPO」に参加し、当市の観光コンテンツである桜や上杉謙信公等のPRを行った。

(2) インバウンド誘客促進事業委託料 (4,049)

- ・台湾の現地旅行者へのプロモーションを行ったほか、市内の観光事業者が造成した旅行商品の情報発信やOTA（オンライン旅行代理店）での販売を行った。
- ・冬期間のスノーレジャーに訪れる訪日外国人を誘客するため、妙高市の宿泊施設や観光施設と連携し、チラシや雑誌広告、SNSによる当市の観光情報等の発信を行った。

(3) 上越市インバウンド推進事業補助金 (434)

市内の観光事業者に対し、外国人旅行者向けの多言語パンフレットの作成や自動翻訳機器の導入に要する費用を補助し、当市への誘客促進と滞在しやすい環境づくりを支援した。

(4) その他事業関係費 (5)

○目標達成状況

市内の観光事業者が造成した旅行商品をOTA（オンライン旅行代理店）で販売したほか、上越市インバウンド推進事業補助金の交付により、市内観光事業者等のインバウンド受入環境整備を促進することができた。

決算書 (P274～P275)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光企画費		

#### 観光地域づくり実践事業 496

##### ○令和6年度目標

観光コンテンツ造成やSNSを活用した情報発信を推進し、観光の担い手による更なる事業展開を促す。

##### ○実施内容、これまでの経過等

- ・様々な担い手が各々の取組に役立つ知識や技術を習得し、観光やおもてなしに資する事業を創出するため、観光地域づくり実践未来塾において、民間事業者や県と連携し、セミナーやワークショップ等を2回実施した。
- ・市内を訪れた観光客を対象にアンケートを行い、属性別の構成比（出発地、宿泊客・日帰り客等）や訪問地点数等について聞き取る観光地点パラメータ調査を実施した。

##### ○目標達成状況

県等と連携し観光地域づくり実践未来塾を開催することにより、観光をけん引する担い手が知識や技術を習得する機会を創出した。

#### 地域独自の予算事業 1,705

- ・謙信公生誕500年に向けた機運醸成事業（春日区）（115）
- ・そば畑おためしオーナー制度事業（春日区）（130）
- ・上越妙高駅賑わいづくり環境整備事業（和田区）（151）
- ・直江津写真フェア事業（直江津区）（346）
- ・直江津地区活性化事業（直江津区）（375）
- ・くびき野サイクルロゲイニングin直江津事業（直江津区）（40）
- ・名立区の魅力を創造し発信する事業（名立区）（548）

#### 【事業の成果】

- ・「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録を機に実施した、市内宿泊割引等を行う観光キャンペーンにより、当市への誘客と市内消費の拡大につなげることができた。
- ・台湾の現地旅行者へのプロモーションにより、観桜会の旅行商品が造成され送客につながったほか、妙高市の宿泊施設や観光施設と連携し、チラシや雑誌広告による情報発信を行ったことで市内への回遊につながった。
- ・謙信公ゆかりの地振興事業では、企画展に関するアンケートの回答で「満足」と回答した方が約96%を占め、うち「非常に満足」と回答した方が61%を占めた。常駐するおもてなし武将隊とともに企画展の実施によって来訪者の高い満足度を得られた。

決算書 (P274～P275)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課
事業名	観光企画費		

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録により、今後も佐渡市を目的とした旅行者の増加が見込まれることから、上越地域3市で連携した情報発信と観光需要の増加に資する取組を実施していく。
- ・今後、更に増えることが想定される外国人旅行者を当市の観光客として取り込むため、様々な受入環境の整備等に取り組んでいる民間事業者や妙高市の宿泊事業者、旅行事業者などと連携し、ニーズを捉えたコンテンツの提供や実送客に向けた施策を検討していく。
- ・謙信公ゆかりの地振興事業においては、企画展「越後上越 謙信公と春日山城展」の入込数を増やすため、周知方法の改善や展示内容の見直し等を行う。
- ・「越後上越上杉 おもてなし武将隊事業」においては、メンバーの減少により少人数での活動となっていることから、受託者である観光コンベンション協会やメンバーとの定期的な意見交換を実施し、より効率的・効果的な活動ができるよう業務改善に取り組むとともに、新規メンバーの加入に向けて周知や広報の協力を行う。

**【執行残について】**

- 事業費節減：謙信公ゆかりの地振興事業に係る委託内容見直しに伴う執行残 480  
 観光地域づくり実践事業に係る観光地域づくり実践未来塾について開催回数及び方法の見直しに伴う執行残 423
- 事業未実施：観光営業事業に係る観桜会における北陸新幹線沿線都市観光PR展の実施を見送ったことに伴う執行残 406  
 観光宣伝物作成事業に係る高田まちなか回遊マップの在庫が充足していたことから作成を見送ったことによる執行残 851
- 入札差金：灯の回廊事業に係る印刷製本費の入札差金 105
- その他：謙信公ゆかりの地振興事業に係る事務経費、「越後上越 上杉おもてなし武将隊」事業に係る委託料、クールジャパンEXPOにおける会場借上料、物品委託料、佐渡広域観光誘客事業における宿泊割引及びクーポンによる利用実績、地域独自の予算事業補助金等が当初見込みを下回ったこと等による執行残 7,538

(単位：千円)

決算書 (P274～P275)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	越後田舎体験推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,930	9,688				4,206 (諸収入)	5,482
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	242				242	

**【目的】**

当市の豊かな自然、農山漁村の地域資源とそこに生きる人々の暮らしをいかした体験型観光を推進し、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

## 令和6年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和6年度目標

情報発信の強化などにより営業活動の充実を図り、受入数40団体以上、3,000人以上、6,000泊以上とする。また、ニーズの変化に対応するため、既存コンテンツの磨き上げや新たなコンテンツの造成など、受入体制を整備する。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・事業主体 越後田舎体験推進協議会
- ・市内受入地域 安塚区、浦川原区、大島区、牧区、柿崎区、大潟区、吉川区、板倉区、清里区及び三和区(10区)

- (1) 受入体制の維持・強化に係る取組(6,233)  
受入地域開拓のための周知、勧誘活動
- (2) 各種営業活動、研修会等への参加(1,181)  
首都圏、関西圏、県内他市、近隣県の旅行代理店や学校等へ営業訪問した。
- (3) 越後田舎体験推進協議会負担金等の支出(2,066)
- (4) 越後田舎体験事業での受入れ等に係る消耗品の購入ほか(208)

決算書 (P274～P275)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	越後田舎体験推進事業		

○目標達成状況

- ・コロナ禍を経て教育旅行の動向が変化したことなどから、目標を達成することができなかった。
- ・越後田舎体験受入数の推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
団体数(団体)	40	27 (37)	24 (44)
人数(人)	2,813	1,525 (2,310)	1,846 (3,576)
宿泊数(泊) ※延べ宿泊数	4,546	3,316 (4,525)	2,979 (5,923)

※令和4年度までは、当市と十日町市が同一の協議会で受入れを行っていたことから、十日町市での受入分を含む。

※令和5年度からは、当市、十日町市それぞれで受入れを行うこととしたため、上越市受入分のみで記載(括弧内は十日町市を含めた数)

【事業の成果】

- ・受入数の目標は達成することができなかったが、売上は令和5年度の約104%となり、地域経済に一定の効果があつた。
- ・首都圏をはじめとする学校や企業等に対し、ものづくり体験や農業など、様々な体験を提供することを通じて、受入地域の魅力を発信することができた。
- ・新たに三和区で地区協議会が設立され、首都圏中学校など7団体の受入れを行った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・民泊受入家庭の高齢化が進んでいることから、農家民宿の利用など幅広い受入先を確保し、民泊受入先の維持に取り組んでいく必要がある。
- ・教育旅行の動向変化を踏まえた、探求学習などの体験プログラムの造成のほか、外国人旅行者、市内の小・中・高校生など新たな顧客の獲得に取り組む必要がある。

【執行残額について】

その他：事業実施に伴う執行残 242

(単位：千円)

決算書 (P274～P277)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
160,999	152,817		3,697		5,096 (使用料、財産収入、 諸収入)	144,024
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
1,232	6,950				6,950	

## 【目的】

市内観光施設を適切に維持管理することにより、当市の豊かな自然と歴史文化に触れる場を提供し、観光誘客と地域振興を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和6年度目標

各公園や海水浴場等の観光施設を適切に維持管理し、受入環境の向上を図るとともに、施設の瑕疵に起因する重大事故の発生をゼロとする。

## ○実施内容、これまでの経過等

<合併前上越市> 94,946

## [維持管理施設]

春日山城跡(駐車場、公衆トイレ)、愛の風公園(公衆トイレ)、愛宕谷公園(公衆トイレ)、親鸞聖人上陸の地(駐車場)、鏡ヶ池公園、前島記念公園、芳沢記念公園(記念館)、寺町駐車場、寺町三丁目公衆トイレ、国分寺駐車場(公衆トイレ)、居多神社前駐車場(公衆トイレ)、南高田駅駐輪場(公衆トイレ)、林泉寺駐車場(公衆トイレ)、浄興寺公衆トイレ、高田駅前公衆トイレ、直江津駅前公衆トイレ、西ヶ窪浜公衆トイレ、心のふるさと道、南葉山登山道、なおえつ海水浴場、たにはま海水浴場、谷浜跨線橋、上越妙高駅観光案内所及び商業施設、直江津駅前観光案内所、高田駅前観光案内所、観光案内看板、公衆無線LAN等

## [維持管理経費]

報酬 1,886 (会計年度任用職員報酬)  
 職員手当等 130 (会計年度任用職員期末・勤勉手当)  
 共済費 84 (会計年度任用職員共済組合負担金54、雇用保険料30)  
 旅費 58 (会計年度任用職員費用弁償57、普通旅費1)  
 需用費 13,324 (消耗品費769、光熱水費7,554、修繕料5,001)  
 役員費 3,732 (光回線・機器利用料1,695、し尿くみ取り手数料2,037)  
 委託料 47,000 (看板作成委託料198、施設管理委託料581、観光施設清掃・整備委託料4,191、各公園等管理委託料2,480、公衆便所浄化槽及び清掃維持管理委託料6,331、海岸清掃・整備委託料14,063、海水浴場事業委託料15,219、観光案内板差替委託料787等)

決算書 (P274～P277)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等整備事業		

使用料及び賃借料 5,148 (上越妙高駅観光案内所及び商業施設用地借上料 3,367 等)  
 工事請負費 23,314 (施設整備工事 12,864、看板撤去工事 10,450)  
 原材料費 42 (諸資材費)  
 負担金補助及び交付金 228 (公衆無線LAN機器電気料負担金 4、たにはま海水浴場臨海学校受入整備事業補助金 224)

<安塚区> 1,071

[維持管理施設]

直峰城跡(公衆トイレ)、信越トレイル、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 27 (消耗品 2、光熱水費 25)  
 役務費 4 (浄化槽検査手数料)  
 委託料 380 (公園等管理委託料)  
 使用料及び賃借料 660 (雪だるま高原及び観光看板用地借地料)

<浦川原区> 1,004

[維持管理施設]

霧ヶ岳公園(屋外トイレ、駐車場)、観光案内看板

[維持管理経費]

需用費 141 (消耗品 22、光熱水費 119)  
 役務費 9 (浄化槽検査手数料)  
 委託料 648 (施設管理委託料、浄化槽維持管理委託料)  
 使用料及び賃借料 206 (土地借地料)

<牧区> 819

[維持管理施設]

弘法清水自然公園、信越トレイル接続道(宇津ノ俣峠)、観光案内看板

[維持管理経費]

需用費 31 (光熱水費)  
 役務費 138 (水質検査手数料)  
 委託料 576 (公園等管理業務委託料)  
 使用料及び賃貸料 74 (弘法清水公園用地、看板用地借地料)

<柿崎区> 16,872

[維持管理施設]

柿崎中央海水浴場(駐車場、公衆トイレ)、大出口公園(公衆トイレ)、坂田池園地(駐車場、遊歩道、公衆トイレ)、米山山頂避難小屋・トイレ、米山登山道、下牧休憩施設、米山寺トイレ、上下浜温泉源泉施設、観光案内看板

[維持管理経費]

報酬 32 (草刈作業報奨金等)  
 需用費 2,680 (消耗品費 69、光熱水費 699、修繕料 1,912)  
 役務費 531 (トイレ汲み取り手数料 512、浄化槽検査手数料ほか 19)  
 委託料 8,386 (海水浴場事業委託料 4,611、観光施設清掃整備委託料等 3,775)  
 使用料及び賃借料 298 (観光施設用地借地料)  
 工事請負費 209 (観光案内看板撤去工事)

決算書 (P274～P277)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等整備事業		

原材料費 50 (補修資材等)  
 備品購入費 671 (上下浜温泉源泉送湯ポンプ購入)  
 諸団体負担金 4,015 (米山山頂トイレ汚泥引抜委託料・汚泥汲み取り手数料・避難小屋桁改修工事上越市負担分)

<大潟区> 7,545

[維持管理施設]

鵜の浜海水浴場 (鵜の浜海岸、公衆トイレ)、キャンプ場トイレ、人魚伝説公園、観光案内看板

[維持管理経費]

需用費 1,207 (消耗品費 19、光熱水費 202、修繕料 986)  
 役務費 233 (トイレ汲み取り手数料等)  
 委託料 5,694 (海水浴場事業委託料 5,633、観光施設清掃・整備委託料 61)  
 使用料及び賃借料 411 (看板用地借地料 326、下水道使用料 85)

<頸城区> 7,339

[維持管理施設]

大池いこいの森 (キャンプ場、遊歩道、駐車場、公衆トイレ、観光案内看板等)

[維持管理経費]

需用費 1,589 (消耗品費 17、光熱水費 270、修繕料 1,302)  
 役務費 278 (トイレ汲み取り手数料等)  
 委託料 4,384 (公園等管理委託料 4,299、公衆トイレ浄化槽維持管理委託料 85)  
 使用料及び賃借料 620 (大池いこいの森施設用地等借地料 551、集落排水使用料 69)  
 工事請負費 361 (施設整備工事)  
 原材料費 20 (舗装用碎石等)  
 補償、補填及び賠償金 87 (大池いこいの森等踏荒補償料)

<吉川区> 2,734

[維持管理施設]

長峰池公園 (駐車場、遊歩道、公衆トイレ)、尾神岳遊歩道・展望台、パラグライダー用地、パノラマハウス、尾神岳公衆トイレ、観光案内看板

[維持管理経費]

需用費 710 (消耗品費 24、光熱水費 173、修繕料 513)  
 役務費 54 (浄化槽検査手数料 26、トイレ汲み取り手数料 25、収入印紙代 3)  
 委託料 1,666 (公園等管理委託料 1,329、公衆便所・浄化槽及び清掃維持管理委託料 337)  
 使用料及び賃借料 241 (観光施設等用地借地料)  
 原材料費 63 (補修資材等)

<中郷区> 7,114

[維持管理施設]

泉縄文公園 (駐車場、公衆トイレ)、桜並木、松ヶ峯温泉源泉施設、松ヶ峯公衆トイレ

[維持管理経費]

報酬 627 (公衆トイレ及び温泉施設、泉縄文公園会計年度任用職員報酬)

決算書 (P274～P277)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等整備事業		

需用費 1,630 (消耗品費 47、光熱水費 1,567、修繕料 16)  
 役務費 172 (手数料 95、源泉監視カメラ通信料 77)  
 委託料 4,529 (公園等管理業務委託料 3,118、松ヶ峯温泉源泉ガスセパレーター  
 清掃業務委託料 440、道路脇支障木伐採等業務委託料 842、公衆ト  
 イレ浄化槽及び清掃維持管理委託料 129)  
 使用料及び賃借料 156 (観光案内看板用地借地料 143、下水道使用料 13)

<板倉区> 5,013

[維持管理施設]

光ヶ原観光総合施設、箕冠城址公園、山寺薬師公衆トイレ、聖の窟、玄藤寺湖畔公園、信越ト  
 レイル接続道(光ヶ原、筒方峠、久々野峠)、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 964 (消耗品費 23、燃料費 110、光熱水費 292、修繕料 539)  
 役務費 67 (電信電話料 32、手数料 35)  
 委託料 3,008 (施設管理委託料 1,502、観光施設清掃・整備委託料 578、各公園等  
 管理委託料 640、公衆便所浄化槽及び清掃維持管理委託料 288)  
 使用料及び賃借料 974 (土地借上料 691、自動車借上料 183、用水使用料 100)

<清里区> 516

[維持管理施設]

信越トレイル接続道(梨平峠)

[維持管理経費]

需用費 39 (修繕料)  
 委託料 477 (観光施設清掃・整備委託料)

<三和区> 152

[維持管理施設]

東部緑地公園、観光案内看板等

[維持管理経費]

委託料 151 (公園管理委託料)  
 使用料及び賃借料 1 (観光看板用地等借上料)

<名立区> 290

[維持管理施設]

不動山登山道、観光案内看板等

[維持管理経費]

委託料 290 (不動山登山道整備業務委託料)

○目標達成状況

各観光施設を適切に維持管理することで、利用者の受入環境を整備するとともに、観光誘客と  
 地域振興につなげることができた。

決算書 (P274～P277)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等整備事業		

地域独自の予算事業 7,402

- ・大池のキャンプ場を活かし、遊歩道から山城巡回を楽しむ事業（頸城区）（449）
- ・大池いこいの森施設運営事業（頸城区）（4,315）
- ・ベース・キャンプ in 光ヶ原高原事業（板倉区）（2,638）

**【事業の成果】**

各観光施設を定期的に見回り、施設の清掃や遊具の点検などを実施したほか、破損個所を適切に修繕したことで、重大事故もなく、安全・安心で快適な利用環境を提供することができた。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

施設の定期的な見回りや危険個所の修繕や草刈り等を実施することで、安全かつ快適に利用してもらおうとともに、施設の長期的な利用を図る必要がある。

**【執行残額について】**

その他：事業実施に伴う執行残 6,950

(単位：千円)

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
451,637	443,883	1,729		133,700	6,401 (繰越金、諸収入)	302,053
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	7,754				7,754	

## 【目的】

市内の観光施設を適切に管理するとともに、民間のノウハウを導入することにより施設の魅力向上を図り、観光の活性化と市民の安らぎや憩いの場を提供する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和6年度目標

指定管理者制度導入13施設の利用者数 820,520人

※指定管理者から前年度末までに提出された令和6年度の事業計画書に基づく利用者数

## ○施設の管理実績

・利用者数(指定管理者制度導入13施設の利用者数)

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計画	実績
利用者数	663,907人	718,217人	820,520人	701,661人

<指定管理者制度導入施設 13施設>

- ① 五智歴史の里会館
- ② リフレッシュビレッジ施設(くわどり湯ったり村)
- ③ リフレッシュビレッジ施設(ゆったりの家)
- ④ リフレッシュビレッジ施設(ヨーデル金谷)
- ⑤ 安塚雪だるま高原
- ⑥ 牧湯の里深山荘
- ⑦ 柿崎マリンホテルハマナス
- ⑧ 大潟健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館
- ⑨ 吉川スカイトピア遊ランド
- ⑩ 吉川ゆったりの郷
- ⑪ 板倉保養センター
- ⑫ ぬしんの里記念館
- ⑬ うみてらす名立

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

・管理事業の収支状況内の区分説明

再算定による増減額 新型コロナウイルス感染症の影響等があった指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増減した額

エネルギー価格高騰補填金 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

令和6年能登半島地震損害補填金 令和6年能登半島地震の影響による損害の協議申し入れがあった指定管理施設について、損害額を算定し補填したものの

<① 五智歴史の里会館>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 国府1丁目18番28号  
 設置 平成19年度  
 構造 木造  
 面積 延床240㎡  
 管理 指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成19年度
指定管理者	五智歴史の里協議会
指定の期間	令和6年4月1日から令和9年3月31日まで

○施設の管理実績

・利用者数

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計画	実績
利用者数	12,440人	12,920人	18,000人	12,910人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			予算現額	実績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	五智歴史の里会館 管理運営委託料	5,857	5,857	6,250	6,250
	エネルギー価格高騰 補填金	119	113	-	-
	その他	344	481	253	253
	合計	6,320	6,451	6,503	6,503
③公費投入額 (②-①)	6,320	6,451	6,503	6,503	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	508	499	361	504	

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	17	-	3	-
	五智歴史の里会館 管理運営委託料	5,857	5,857	6,250	6,250
	エネルギー価格高騰 補填金	119	113	-	-
	その他	639	843	882	887
②支出		6,828	6,856	7,124	7,227
差引(①-②)		△196	△43	11	△90

<②～④ リフレッシュビレッジ施設>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

②くわどり湯ったり村

所在地 大字皆口 601 番地  
 設置年度 平成 11 年度  
 構造 鉄筋コンクリート造  
 面積 延床 2,524 m<sup>2</sup>  
 管理 指定管理

③ゆったりの家

所在地 大字横畑 659 番地  
 設置年度 平成 14 年度  
 構造 木造  
 面積 延床 154 m<sup>2</sup>  
 管理 指定管理

④ヨーデル金谷

所在地 大貫 2 丁目 17 番 40 号  
 設置年度 平成 11 年度  
 構造 鉄骨造  
 面積 延床 400 m<sup>2</sup>  
 管理 指定管理

・指定管理の状況

くわどり湯ったり村、 ゆったりの家	導入開始年度	平成 18 年度
	指定管理者	オーガニックリゾートホールディングス株式会社
	指定の期間	令和 5 年 6 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで
ヨーデル金谷	導入開始年度	平成 18 年度
	指定管理者	株式会社ミーナハライペ
	指定の期間	令和 5 年 6 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計 画	実 績
くわどり湯ったり村	28,646人	27,716人	32,210人	26,668人
うち宿泊	2,589人	982人	1,746人	1,713人
うち日帰り温浴	15,292人	15,813人	17,680人	14,588人
うち食堂	9,576人	10,236人	11,901人	8,852人
ヨーデル金谷	17,612人	22,105人	22,500人	23,891人
ゆったりの家	137人	30人	200人	0人
合 計	46,395人	49,851人	54,910人	50,559人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			予算現額	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	5,740	29,142	19,107	19,102
	リフレッシュビレッジ 施設管理運営委託料	49,936	64,104	48,421	47,779
	再算定による 増減額	-	△6,678	-	△642
	工事請負費	1,296	1,584	-	-
	施設購入費	-	2,617	-	-
	備品購入費	4,453	2,000	2,018	2,018
	エネルギー価格高騰 補填金	4,698	-	-	-
	令和6年能登半島地 震損害補填金	-	288	-	-
	清算補助金	-	55,927	4,046	-
	その他	35	235	189	189
合計	66,158	155,897	73,781	69,088	
③公費投入額 (②-①)	66,158	155,897	73,781	69,088	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位：円)	1,426	3,127	1,344	1,366	

○リフレ上越山里振興清算補助金

令和5年度に支出したリフレ上越山里振興清算補助金のうち、1,703千円が令和6年度に還付された。

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況（くわどり湯ったり村、ゆったりの家）

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			計画	実績	
①収入	利用料金収入	55,575	33,085	54,728	47,697
	リフレッシュビレッジ 施設管理運営委託料	35,922	51,350	39,020	39,020
	再算定による 増減額	-	3,543	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	3,739	-	-	-
	令和6年能登半島地 震損害補填金	-	179	-	-
	その他	2,881	2,332	1,442	2,672
②支出	96,431	87,473	94,651	97,024	
差引（①－②）	1,686	△527	539	△7,635	

※金額は全て税抜き

○指定管理者による収支改善等の取組

隣県での営業活動や季節的なレストランメニューの提供により誘客を図ったほか、物価高騰に対応するため、原材料や燃料の節減等により経費を削減し、収支改善に取り組んだ。

○指定管理者の収支状況（ヨーデル金谷）

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			計画	実績	
①収入	利用料金収入	36,087	47,630	46,500	54,201
	リフレッシュビレッジ 施設管理運営委託料	9,475	6,925	4,999	4,416
	再算定による 増減額	-	555	-	△584
	エネルギー価格高騰 補填金	959	-	-	-
	令和6年能登半島地 震損害補填金	-	109	-	-
	その他	663	35	-	2
②支出	45,398	52,724	51,030	53,513	
差引（①－②）	1,786	1,975	469	5,106	

※金額は全て税抜き

○指定管理者による収支改善等の取組

地元食材を活用したメニューの提供を通じて「人や文化・物産の交流の場」「心身のリフレッシュの場」等の提供により、地元食材の消費拡大と地域貢献に努めたほか、地域の文化的写真や歴史的写真、昔の生活写真などを展示し、親しみある雰囲気づくりにより集客を図った。

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

<⑤ 安塚雪だるま高原>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

<キューピットバレイスキー場>

所在地 安塚区須川 4820 番地

設置年度 平成 2 年度 ※平成 11 年度に民間事業者から譲り受け、公の施設として管理

構造 鉄骨造(センターハウス、ゴンドラ、リフト)、木造(ビレッジ)

面積 延床 14,587 m<sup>2</sup>(センターハウス、ビレッジ等)

管理 指定管理

<棚田動植物公園>

所在地 安塚区須川 11584 番地

設置年度 平成 15 年度

管理 指定管理

<ゆきだるま温泉久比岐野>

所在地 安塚区須川 2352 番地

設置年度 平成 2 年度

構造 木造

面積 延床 1,630 m<sup>2</sup>

管理 指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 16 年度
指定管理者	株式会社スマイルリゾート
指定の期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数

区分	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
			計画	実績
キューピットバレイスキー場	56,341 人	60,328 人	51,110 人	46,018 人
うちスキー場利用	55,000 人	55,550 人	45,000 人	42,690 人
うちビレッジ宿泊	1,341 人	1,340 人	1,610 人	822 人
棚田動植物公園	697 人	544 人	1,200 人	585 人
うちキャンプ宿泊	697 人	367 人	700 人	322 人
ゆきだるま温泉久比岐野	7,589 人	9,138 人	10,300 人	7,748 人
合計	64,627 人	70,010 人	62,610 人	54,351 人

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入		5,400	-	1,740	1,728
②支出	安塚雪だるま高原 管理運営委託料	47,844	33,847	39,306	39,306
	再算定による 増減額	17,485	△4,046	-	-
	その他委託料	307	3,547	3,458	3,457
	備品購入費	8,811	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	7,355	6,751	-	-
	令和6年能登半島 地震損害補填金	-	6,631	-	-
	その他	3,847	149	26	-
	雪国文化村リゾート 推進事業	99,619	235,421	1,360,669	802,767
	合計	167,783	286,346	1,403,459	845,530
③公費投入額 (②-①)		162,383	286,346	1,401,719	843,802
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		2,513	4,090	22,388	15,525

○指定管理者の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	76,947	78,134	69,660	59,294
	安塚雪だるま高原 管理運営委託料	43,494	30,770	35,733	35,733
	再算定による 増減額	15,895	2,527	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	7,355	6,751	-	-
	令和6年能登半島 地震損害補填金	-	6,631	-	-
	その他	84,812	82,225	94,127	77,770
②支出		209,306	214,105	198,469	194,281
差引 (①-②)		3,302	△9,594	1,051	△21,484

※金額は全て税抜き

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者による収支改善等の取組

<夏期営業>

アウトドア初心者やファミリー層向けの宿泊プラン、試験的にペット同伴宿泊プランを販売するなど、新規顧客獲得を図った。

<冬期営業（スキー場営業）>

- ・令和6年度はリフト架け替え工事に伴い、第2クワッドリフトを休止したが、7シーズンぶりとなるナイター営業の復活や、雪上車で山頂コースまで登り非圧雪コース敷を滑るツアーを実施するなど、集客増加に取り組んだ。
- ・また、レストランでは、メニューの見直しや原価改善など、収益改善に向けた取組を行った。

○インクルーシブ野外活動推進事業 3,457

- ・ハンディキャップを持つ人も、家族や友人と同じ野外活動を楽しむことができるようにするため、指導員等の養成とスキー授業の支援体制の実証を行った。
- ・年度別の主な事業実施状況

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
主な事業内容	・体験会等の実施 ・専用機材の購入	・人材養成講座の実施 ・ニーズ調査	同左
実証事業学校数	2校	4校	7校
対象児童（生徒）数	2名	6名	12名

<⑥ 牧湯の里深山荘>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 牧区宇津保 285 番地  
 設置年度 昭和 61 年度  
 構造 鉄筋コンクリート造  
 面積 延床 2,929 m<sup>2</sup>  
 管理 指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 27 年度（平成 27 年 10 月 1 日から）
指定管理者	株式会社太平堂
指定の期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計画	実績
利用者数	11,111 人	19,397 人	20,000 人	19,100 人
うち宿泊	1,138 人	1,662 人	1,750 人	1,848 人
うち日帰り温浴	4,489 人	7,321 人	7,400 人	6,112 人
うち食堂	2,302 人	3,560 人	3,700 人	3,429 人

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			予算現額	実績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	2,765	3,527	4,088	3,415
	牧湯の里深山荘 管理運営委託料	20,035	18,570	17,747	17,325
	再算定による 増減額	-	△1,975	-	-
	その他委託料	-	-	300	299
	使用料及び賃借料	375	362	298	296
	工事請負費	-	-	472	400
	備品購入費	-	118	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	1,579	-	-	-
	令和6年能登半島 地震補填金	-	160	-	-
	その他	94	94	172	171
合計	24,848	22,831	23,077	21,906	
③公費投入額 (②-①)	24,848	22,831	23,077	21,906	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	2,236	1,177	1,154	1,147	

○指定管理者の収支状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			計 画	実 績	
①収入	利用料金収入	24,962	36,196	38,346	42,873
	牧湯の里深山荘 管理運営委託料	20,035	16,882	16,134	15,750
	再算定による 増減額	-	△1,289	-	-
	エネルギー価格 高騰補填金	1,579	-	-	-
	令和6年能登半島 地震補填金	-	160	-	-
	その他	2,029	1,726	50	740
②支出	48,526	53,165	53,512	55,952	
差引 (①-②)	79	1,799	1,018	3,411	

※令和5年度及び令和6年度の金額は税抜き

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・季節のイベントや地域と連携したイベント等、施設の利用促進に資する事業を行った。
- ・国や県等の各種助成金を積極的に活用したほか、経費削減のため、仕入業者の選定、光熱水費、燃料費の削減に取り組んだ。

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

<⑦ 柿崎マリンホテルハマナス>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 柿崎区上下浜 262 番地

設置年度 平成 6 年度

構造 鉄筋コンクリート造

面積 延床 1,992 m<sup>2</sup>

管理 指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	ネクストリゾート上越株式会社
指定の期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
			計 画	実 績
利用者数	12,071 人	12,672 人	19,200 人	12,194 人
うち宿泊	3,952 人	4,431 人	5,000 人	4,517 人
うち日帰り温浴	3,587 人	4,204 人	3,800 人	3,680 人
うち食堂	3,386 人	2,792 人	6,300 人	2,822 人

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			予算現額	実績	
①収入	58	1,054	-	-	
②支出	修繕料	8,830	10,672	16,724	16,723
	柿崎マリンホテルハマナス 管理運営委託料	25,613	18,337	19,183	19,183
	再算定による 増減額	-	△10,799	-	-
	使用料及び賃借料	210	210	131	131
	施設設備工事費	-	-	930	930
	備品購入費	-	496	3,412	3,092
	負担金	212	212	212	212
	エネルギー価格高騰 補填金	6,355	1,600	-	-
	能登半島地震損害補 填金	-	1,647	-	-
	その他	305	108	241	227
合計	41,525	33,282	40,833	40,498	
③公費投入額 (②-①)	41,467	32,229	40,833	40,498	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	3,435	2,543	2,127	3,321	

○指定管理者の収支状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			計 画	実 績	
①収入	利用料金収入	64,089	79,231	73,700	68,619
	柿崎マリンホテルハマナス 管理運営委託料	23,285	16,670	17,439	17,439
	再算定による 増減額	-	△9,817	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	6,355	1,600	-	-
	令和6年度能登半島 地震損害補填金	-	1,647	-	-
	その他	6,119	3,431	17,000	14,652
②支出	99,249	99,410	105,880	100,473	
差引 (①-②)	599	3,169	2,259	237	

※金額は全て税抜き

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・閑散期の平日利用限定の宿泊プランや、和室貸切り入浴付き日帰りプランなどを企画し、利用促進に努めた。
- ・送迎車両とドライバーを近隣施設間で共有し効率的な運行と人件費の削減に努めた。

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

<⑧ 大潟健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 大潟区九戸浜 241 番地 8

設置年度 平成 9 年度

構造 鉄骨造

面積 延床 3,138 m<sup>2</sup>

管理 指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	ネクストリゾート上越株式会社
指定の期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
			計 画	実 績
利用者数	77,493 人	88,239 人	109,300 人	80,350 人
うち日帰り温浴	47,339 人	55,260 人	61,200 人	51,194 人
うちプール	6,905 人	5,917 人	12,600 人	6,037 人
うち共通	1,628 人	1,729 人	2,700 人	1,461 人
うちプール教室	1,849 人	3,377 人	2,200 人	3,089 人
うち各種健康教室	1,937 人	1,759 人	2,200 人	1,867 人
うち食堂等	17,835 人	20,197 人	28,400 人	16,702 人

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			予算現額	実績	
① 収入	-	847	-	-	
② 支出	修繕料	19,533	12,887	4,211	4,210
	鵜の浜人魚館管理運営委託料	43,640	50,127	45,565	45,565
	再算定による増減額	-	△537	-	-
	その他委託料	3,224	3,731	3,224	3,224
	使用料及び賃借料	841	841	841	841
	備品購入費	-	-	3,569	3,080
	エネルギー価格高騰補填金	10,174	523	-	-
	令和6年能登半島地震損害補填金	-	342	-	-
	その他	88	88	162	137
合計	77,500	68,539	57,572	57,057	
③公費投入額 (②-①)	77,500	67,692	57,572	57,057	
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)	1,000	767	527	710	

○指定管理者の収支状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			計 画	実 績	
①収入	利用料金収入	27,537	28,559	31,399	29,107
	鵜の浜人魚館管理運営委託料	39,672	45,570	41,423	41,423
	再算定による増減額	-	△488	-	-
	エネルギー価格高騰補填金	10,174	523	-	-
	令和6年能登半島地震損害補填金	-	342	-	-
	その他	26,864	33,635	39,424	35,082
②支出	102,850	106,823	112,111	106,812	
差引 (①-②)	1,397	1,806	135	△1,200	

※金額は全て税抜き

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・冬期間を中心に、プールの一般利用者の利用時間を見直すなど効率的な営業を実施し、光熱水費を始めとする経費を削減した。
- ・イベントや新メニューについて、定期的に地元紙に掲載したほか、子ども向けイベントの開催、ホームページやSNSを活用した情報提供を行い、誘客に努めた。

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

<⑨ 吉川スカイトピア遊ランド>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 吉川区坪野 1458 番地 2

設置年度 平成 3 年度

構造 鉄筋コンクリート造

面積 延床 1,405 m<sup>2</sup>

管理 指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	株式会社みなもとの郷
指定の期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
			計 画	実 績
利用者数	7,143 人	8,770 人	9,000 人	9,440 人
うち宿泊	1,474 人	1,685 人	1,700 人	1,450 人
うち日帰り	5,669 人	7,085 人	7,300 人	7,990 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
			予算現額	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	3,438	1,686	906	879
	吉川スカイトピア遊ランド 管理運営委託料	11,473	8,797	7,297	7,297
	再算定による 増減額	-	△2,277	-	-
	除雪業務委託料	-	-	880	880
	使用料及び賃借料	1,062	989	942	941
	工事請負費	178	624	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	707	679	-	-
	令和 6 年能登半島地 震補填金	-	21	-	-
	その他	-	148	216	215
合計	16,858	12,944	10,241	10,212	
③公費投入額 (②-①)	16,858	12,944	10,241	10,212	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)	2,360	1,476	1,138	1,082	

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			計画	実績	
①収入	利用料金収入	32,804	34,580	35,050	35,087
	吉川スカイピア遊ランド 管理運営委託料	11,473	8,797	7,297	7,297
	再算定による 増減額	-	346	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	707	679	-	-
	令和6年能登半島地 震補填金	-	21	-	-
	その他	3,312	1,645	1,963	347
②支出	48,222	48,344	44,310	46,168	
差引(①-②)	74	△2,622	0	△3,437	

○指定管理者による収支改善等の取組

安価な食材の確保に努めたほか、閑散期の効率的な営業により水道光熱費を削減した。

<⑩ 吉川ゆったり郷>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 吉川区長峰100番地

設置年度 平成9年度

構造 鉄筋コンクリート造

面積 延床3,457㎡

管理 指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成18年度
指定管理者	ネクストリゾート上越株式会社
指定の期間	令和4年4月1日から令和7年3月31日まで

○施設の管理実績

・利用者数

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計画	実績
利用者数	110,674人	111,958人	123,700人	124,245人
うち日帰り温浴	68,584人	69,099人	75,000人	77,869人
うち食堂(宴会含む)	38,851人	39,863人	46,000人	43,468人
うちゲートボール場	2,557人	2,513人	2,000人	2,412人

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入		-	-	-	-
②支出	修繕料	12,386	28,190	6,379	6,378
	吉川ゆったりの郷管理運営委託料	9,048	7,705	8,125	8,125
	再算定による増減額	-	△7,177	-	-
	その他委託料	-	-	198	198
	工事請負費	-	399	382	382
	備品購入費	2,345	-	2,684	2,684
	エネルギー価格高騰補填金	3,284	790	-	-
	令和6年能登半島地震補填金	-	1,410	-	-
	指定管理者営業補填金	-	6,953	-	-
	その他	273	81	124	118
合計		27,336	45,528	17,892	17,885
③公費投入額 (②-①)		27,336	45,528	17,892	17,885
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)		247	407	145	144

○指定管理者の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	39,621	32,690	47,212	42,065
	吉川ゆったりの郷管理運営委託料	8,225	7,004	7,386	7,386
	再算定による増減額	-	△6,525	-	-
	エネルギー価格高騰補填金	3,284	790	-	-
	令和6年能登半島地震補填金	-	1,410	-	-
	指定管理者営業補填金	-	6,953	-	-
	その他	66,717	66,448	74,963	72,109
②支出		116,208	113,521	126,038	118,976
差引 (①-②)		1,639	1,774	3,523	2,584

※金額は全て税抜き

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・利用状況を踏まえ、必要に応じてレストランの営業時間を短縮し、経費削減に努めた。
- ・よしかわ杜氏の郷の酒粕を利用した新たなメニューを開発したほか、月替わりの特別メニューをSNSに投稿し誘客するなど、レストランの売上増につなげた。
- ・地元音楽グループの定期公演やお笑い演芸などを開催し、誘客に努めた。

<⑪ 板倉保養センター>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 板倉区久々野 1624 番地 1

設置年度 平成 7 年度

構造 鉄骨造

面積 延床 1,426 m<sup>2</sup>

管理 指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	ネクストリゾート上越株式会社
指定の期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

・利用者数

区分	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
			計画	実績
利用者数	32,500 人	34,815 人	37,800 人	31,327 人
うち宿泊	1,299 人	1,008 人	1,400 人	1,167 人
うち日帰り	20,504 人	22,357 人	22,000 人	19,601 人
うち食堂	9,071 人	9,491 人	12,000 人	8,548 人

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			予算現額	実績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	1,627	2,126	11,973	11,784
	板倉保養センター 管理運営委託料	13,795	17,172	14,630	14,630
	再算定による 増減額	-	△6,162	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	1,538	1,067	-	-
	令和6年能登半島 地震損害補填金	-	233	-	-
	その他	-	-	321	320
合計	16,960	20,598	26,924	26,734	
③公費投入額 (②-①)	16,960	20,598	26,924	26,734	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	522	592	712	853	

○指定管理者の収支状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			計 画	実 績	
①収入	利用料金収入	48,085	48,108	56,477	51,507
	板倉保養センター 管理運営委託料	12,541	15,611	13,300	13,300
	再算定による 増減額	-	△1,218	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	1,538	1,067	-	-
	令和6年能登半島 地震損害補填金	-	233	-	-
	その他	2,043	1,851	396	423
②支出	64,469	64,973	67,099	66,179	
差引 (①-②)	△262	1,897	3,074	△949	

※金額は全て税抜き

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・ゲートボール大会の開催や季節ごとの地域イベントへの参画を通じて、イベント参加者に施設の利用を促すことができた。
- ・令和6年度に実施した客室防音工事により隣室への音漏れを防止したことで、全ての部屋を効率的に活用でき、客室の利用率を上げることができた。

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

<⑫ ゑしんの里記念館>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 板倉区米増 27 番地 4

設置年度 平成 17 年度

構造 鉄筋コンクリート造

面積 延床 1,359 m<sup>2</sup>

管理 指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	特定非営利活動法人板倉まちづくり振興会
指定の期間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
			計 画	実 績
利用者数	8,063 人	9,175 人	9,000 人	10,485 人

・指定管理制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
			予算現額	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	3,613	4,229	779	779
	ゑしんの里記念館管 理運営委託料	16,044	14,841	15,797	15,754
	再算定による 増減額	-	△962	-	-
	その他委託料	-	-	-	-
	使用料及び賃借料	63	63	64	63
	備品購入費	-	300	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	596	1,389	-	-
	合計	20,316	20,822	16,640	16,596
③公費投入額 (②-①)	20,316	20,822	16,640	16,596	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額(単位：円)	2,520	2,269	1,849	1,583	

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			計画	実績	
①収入	利用料金収入	219	214	374	205
	ゑしんの里記念館 管理運営委託料	16,044	14,841	15,754	15,754
	再算定による 増減額	-	△962	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	596	1,389	-	-
	その他	1,282	3,757	3,197	2,373
②支出	19,290	20,195	19,325	17,435	
差引(①-②)	△1,149	6	0	897	

○指定管理者による収支改善等の取組

「板倉特産品販売」や「やわやわマーケット板倉」など、様々なイベントを開催し、来場者数の増加を図った。また、業務内容の見直しや省電力化による経費削減に取り組んだ。

<⑬ うみてらす名立>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 名立区名立大町 4280 番地 1

設置年度 平成 12 年度

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造

面積 延床 8,605 m<sup>2</sup>

管理 指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	株式会社B J・株式会社ゆめ企画名立
指定の期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計画	実績
利用者数	281,390 人	300,410 人	357,000 人	296,700 人
うち健康交流館「ゆらら」	100,078 人	104,064 人	110,000 人	100,565 人
うち交流促進施設「光鱗」	11,330 人	9,918 人	11,000 人	8,917 人

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			予算現額	実績	
①収入	76	75	101	92	
②支出	修繕料	8,526	13,193	8,627	8,626
	うみてらす名立 管理運営委託料	59,281	72,892	67,100	67,100
	再算定による 増減額	-	△1,598	-	-
	その他委託料	8,079	8,079	8,080	8,080
	使用料及び賃借料	2,007	144	191	122
	工事請負費	14,082	79,354	43,939	43,879
	備品購入費	3,652	1,955	2,235	2,189
	エネルギー価格高騰 補填金	13,683	1,064	-	-
	令和6年能登半島地 震損害補填金	-	1,905	-	-
	その他	377	336	1,165	1,085
合計	109,687	178,922	131,337	131,081	
③公費投入額 (②-①)	109,611	178,847	131,236	130,989	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	390	595	368	441	

○指定管理者の収支状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			計 画	実 績	
①収入	利用料金収入	417,544	431,147	449,000	433,575
	うみてらす名立管理 運営委託料	53,892	66,265	61,000	61,000
	再算定による 増減額	-	5,265	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金	12,439	1,064	-	-
	令和6年能登半島地 震損害補填金	-	1,905	-	-
	その他	4,882	18,616	1,000	4,216
②支出	482,390	514,198	506,700	503,982	
差引 (①-②)	6,367	4,799	4,300	△5,191	

※金額は全て税抜き

決算書 (P276～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・健康交流館「ゆらら」の2階大広間の段差解消や内装工事、券売機システムを導入するなど、利用者の利便性向上と業務効率化につなげた。
- ・交流促進施設「光鱗」(ホテル光鱗)では、物価高騰を受け、夕食付きプランを中心に宿泊料金を見直し、収益の改善に取り組んだ。また、インターネットを用いた集客活用に取り組み、誘客と売上増加を図った。

○目標達成状況

13施設の利用者数の合計は、701,661人となり、目標を達成できなかった。

(目標達成率：85.5%、目標達成：4施設、目標未達成：9施設)

地域独自の予算事業 3,267

- ・鵜の浜人魚館美化活動事業(大潟区)(52)
- ・いたくら里山彩花事業(板倉区)(3,215)

**【事業の成果】**

- ・施設の老朽化が進む中において、適宜、修繕を実施するなど、受入環境を整備した。
- ・物価高騰などの課題について、各指定管理者と協議を重ね、運営を支援した。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・施設周辺の人口減少や高齢化、物価高騰等による利用控えなど、施設の経営環境が厳しさを増す中、市や指定管理者などが創意工夫しながら、施設の継続運営を図っていく必要がある。
- ・施設の運営に当たり、施設職員の確保が厳しい状況にあり、施設の営業時間等について見直しを進め、効率的な運営体制を構築する必要がある。

**【執行残額について】**

その他：事業実施に伴う執行残 7,754

(単位：千円)

決算書 (P278～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課
事業名	通年観光推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
64,223	58,637	22,132	5,000		19,465 (繰入金、諸収入)	12,040
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
2,508	3,078			2,587	491	

**【目的】**

地域の歴史や文化を観光資源として磨き上げることにより、観光の活性化を図るとともに、持続可能な地域資源として後世に伝承する。

## 令和6年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和6年度目標

上越市通年観光計画に基づく取組の推進に向け、事業実施に伴う計画策定等を行う。

## ○実施内容、これまでの経過等

## (1) 春日山地域

- 市場調査やワークショップ等を実施し、メインターゲットとなる観光客の設定や誘客につながる観光コンテンツ等を整理した「春日山地域観光コンテンツ計画」をとりまとめた。
- 将来の来訪者数や回遊ルートを設定し、駐車場やトイレの適正配置、二次交通、サイン配置等について整理した「春日山地域回遊観光計画」をとりまとめるとともに、神社下駐車場や春日山駅周辺等の関連する施設の活用構想をとりまとめた。

## (2) 直江津地域

- 市民や観光客等を対象としたニーズ調査等を実施し、当市の近代産業の形成及び発展に重要な役割を果たした鉄道遺産を後世に保全及び継承していく方策を整理した「上越市鉄道遺産群活用基本計画」をとりまとめた。
- 直江津屋台会館と海浜公園の新たなにぎわいの創出や収益化のスキーム構築に向け、4回の主催イベント、2回のイベント誘致を行うとともに、日常的に飲食や物販の事業者が出店しやすい環境を整えた(2か年業務の1年目)。

決算書 (P278～P279)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課
事業名	通年観光推進事業		

(3) 高田地域

- ・住民等を対象としたワークショップやアンケート調査を実施し、景観舗装や無電柱化などの景観形成の方策を整理した「浄興寺大門通り修景整備計画」をとりまとめたほか、浄興寺大門通りの沿道住民等をお願いしたい「空間の気遣い」、にぎわいや癒しを与える「人の行動」等を整理した「景観ポイントブック」をとりまとめた。
- ・高田城枳形門の再現可能性の調査・研究に向けて、既存資料の再整理や再現事例の調査を行うとともに、旅行代理店や市民を対象にしたニーズ調査を行った（2か年業務の1年目）。

○目標達成状況

上越市通年観光計画に基づく取組の推進に向け、事業実施に伴う個別計画案のとりまとめや、各種調査等を行った。

【事業の成果】

- ・春日山地域では、誘客のターゲットを明らかにすることで、強化・創出する観光コンテンツや、その実現に向けて必要な取組等を整理することができた。また、将来の来訪者想定や回遊ルートを設定することで、観光サイン、駐車場、トイレ等の整備する施設の配置や規模等を具体化することができた。
- ・市内に点在する鉄道遺産について、歴史等の背景を調査したことで、観光客の興味を惹き、それらをつなげるストーリーを描くことができたほか、鉄道遺産の保全や活用を行っている団体等と、現状や課題、今後のあるべき姿について共通の理解を持つことができた。
- ・直江津屋台会館等の社会実験では、累計で約6,700人の来場や、延べ約110の事業者からの出店があり、新たなにぎわいの場と出店の機会が創出された。
- ・浄興寺大門通りの取組では、沿道の住民等と目指す修景整備の将来像を共有できたほか、住民と市の役割を整理することができた。
- ・高田城枳形門再現可能性調査では、他市の事例調査から、観光客を惹きつけるためには施設の整備だけでは不十分で、コンテンツ創出や案内ガイドなどのソフト面の取組も重要であることが確認できた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

各個別計画に登載している事業の実施にあたっては、引き続き関係者との協議や調整を図りながら、財源及び優先順位の検討により実施を判断する必要がある。

【執行残額について】

入札差金：通年観光計画関連委託料の入札差金 2,587  
 その他：報償金、費用弁償、普通旅費等の事業実績に伴う執行残 491

(単位：千円)

決算書 (P366～P367)	11款5項1目 その他公共施設等災害復旧費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,516	2,475					2,475
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	41			41		

**【目的】**

能登半島地震により被災した長峰池遊歩道の復旧修繕を行う。

令和6年度の取組
----------

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

○実施内容、これまでの経過等

長峰池遊歩道(吉川区)舗装修繕 2,475

**【事業の成果】**

速やかに復旧を完了したことにより、これまで通り利用できるようになった。

**【執行残額について】**

入札差金：長峰池遊歩道舗装修繕に係る入札差金 41